

第五十九回帝國議會
衆議院

抵當證券法案外九件委員會會議錄(速)第二回

會議

昭和六年二月二十三日(月曜日)午前十一時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 荒川 五郎君

理事 小峰 滿男君

理事 篠原 陸朗君

理事 勝田 永吉君

理事 大崎 清作君

理事 板谷 順助君

小村 俊一君

本多眞喜雄君

山田 又司君

名川 侃市君

中田 縣郎君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 子爵渡邊 千冬君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省銀行局長 大久保偵次君

司法政務次官 川崎 克君

司法參與官 井本 常作君

司法省民事局長 長島 毅君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

抵當證券法案(政府提出)

不動産登記法中改正法律案(政府提出)

民事訴訟法中改正法律案(政府提出)

競賣法中改正法律案(政府提出)

民事訴訟用印紙法中改正法律案(政府提出)

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

農工銀行法中改正法律案(政府提出)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

國稅徵收法中改正法律案(政府提出)

○荒川委員長 是ヨリ證券抵當法案外九件ノ委員會ヲ開キマス、本案ハ最初ノ試ミデモアリマス、皆サンニ十分ニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマシテ、一昨日ハ特ニ委員會ヲ開カズシテ、參考書ハ私ノ手許ヘ預ッテ、一昨日議場ニ於テ特ニ皆サンニ御配付シテ、先ヅ御一見下サルノガ便宜ト思ッタノデアリマスガ、尙ホ御受取ニナラヌ御方ハ書記ノ手ヨリ御受取ヲ願ヒマス、本案ニ付キマシ

テハ、只今申スヤウニ最初ノ試ミデモアリマス、土地ヲ金融化致シ、從ッテハ土地ノ價モ出テ來ル、農村ノ發達ニモ利シヨウト云フ案デアリマス、旁々皆サンノ十分御審議ヲ願ヒマスノハ勿論デアリマスガ、幸ニ本會議ニ於テ名川君、上田君、板谷君等カラ有力ナ質疑應答ガ重ネラレマシテ、大分本案ノ審議ハ進行致シタ譯デアリマス、ソレ等ニ關シテハ重複ヲ避ケルコトハ勿論、尙ホ熱心ナ委員諸君ノ御盡力ニ依リマシテ、成ベク質問ハ重複ヲ避ケテ、十分ノ審議ヲ圖リマスヤウニ御願ヒ致シタイト心得テ居リマス、ドウゾ其積リデ委員諸君ハ本案ノ議事ノ進行ニ御盡力アラシコトヲ希望致シマス、本案ニ付テハ本會議デ説明モアリマシタガ、尙ホ政府ニ於テ御説明ガゴザイマスレバ、此際御述ヲ願ヒタイ

○渡邊國務大臣 此抵當證券法以下九案ノ説明ニ付キマシテハ、過日本議場ニ於キマシテ大體申述ベテ置キマシタ通リデアリマス、詰リ今日我國ノ不動産金融ノ狀態ガ思フヤウニ行ッテ居ラナ

○荒川委員長 ソレデハ是ヨリ御通告ノ順ニ依リマシテ、質疑ヲ御紹介致シマス——板谷君

○板谷委員 私ハ政府ニ參考資料ノ提

付託議案

抵當證券法案(政府提出)

不動産登記法中改正法律案(政府提出)

民事訴訟法中改正法律案(政府提出)

競賣法中改正法律案(政府提出)

民事訴訟用印紙法中改正法律案(政府提出)

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

農工銀行法中改正法律案(政府提出)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

國稅徵收法中改正法律案(政府提出)

貯蓄銀行法中改正法律案(政府提出)

イ、債務ノ總額ハ昭和三年度末ニ於テ六十二億ヲ超ユル巨額ニ上ッテ居ルノデアリマスケレドモ、是ガ殆ド固定ヲ致シテ居リマスノデ、之ヲドウカシテ融通性ヲ持タシタイ、即チ流動化トカ資

金化トカ云フコトヲ致サナケレバ、此上不動産金融ト云フモノヲ一層滑カニ致スコトガムヅカシイト云フコトカラ、此法案ガ考ヘ出サレタノデアリマシテ、抵當證券法以下四ツノ法案ハ皆手續上ノ改正ヲスルコトガ必要ニナリマシタノデアリマシテ、抵當證券自體ト致シマシテモ、其精神ハ右申シマシタコトニ盡キテ居ルノデアリマス、アトハソレヲ證券ト致ス上ノ手續及細カ

イ法律上ノ關係ヲ多少規定致シテアルノデアリマスカラ、御質問ニ應ジマシテ私ナリ又政府委員ナリカラ御説明ヲ申上ゲタ方ガ、御便宜デハナイカト存

ジマス

○荒川委員長

○板谷委員

出ヲ願ヒタイト思ヒマス、一昨日頂戴致シマシタ參考資料ニ依リマシテモ、又只今司法大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、昭和三年度ニ於ケル全國不動産抵當債務ガ六十二億アルト云フノデアリマスガ、其後ノ御調査ガ出來テ居リマスナラバ、最近ノ統計ヲ御示ヲ願ヒタイ	レモ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス ソレカラ競賣申立カラ終結ニ至ル日數ガ今日マデ相當ニ掛ッテ居ルノデアリマスガ、其日數ノ統計ガ凡ソドレ位掛ッテ居ルカ、御分リニナッタナラバ御示ヲ願ヒタイ	質ト同様デアッテ、裏書人全體ガ連帶責任デアルヤウニモ考ヘラレルノデアリマスガ、其點ガハッキリシテ居リマセヌノデ、之ヲ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ本法ノ施行區域ハ勅令ヲ以テ定メラレルコトニナッテ居リマス、其地域ハ市制施行地、借地法施行地及ビ浦和町ノ豫定デアリマシテ、從テ此際ハ市街地ノ土地建物ノミガ抵當證券ノ目的トナル譯デアリマス、斯ウ書イテアルノデアリマスガ、市街宅地ニ限ルノデアアルカドウカ、此點モ一ツ御説明願ヒタイノデアリマス	利害關係者ニ對シテ異議アレバ、一定ノ期間内ニ申立ツベキ旨ヲ催告シマス、斯ノ如ク債務者其他ノ利害關係者ニ對シテ催告ヲ爲シ、異議ノ申立ノ途ヲ開クト共ニ、異議申立ヲ爲サズシテ抵當證券ガ發行サレタトキハ、催告ヲ受ケタル者ハ大體ニ於テ證券ニ記載サレタル事項ヲ爭フコトガ出來ナクナルノデアリマス、斯ウ書イテアリマス、又抵當證券發行ノ特約ノナイ場合ニ於テハ、發行ガ出來ナイト云フコトガ書イテアリ、更ニ又債務者ノ同意書ヲ添ヘテ出シタナラバ、此手續ガ出來ルト云フコトガ書イテアッテ、是等ノ手續ガ完備シテ居ルニモ拘ラズ、更ニ又此點ニ對シマシテ債務者其他ノ利害關係者ニ異議ガアルナラバ、一定ノ期間内ニ申立タルコトガ出來ルカ、此點ガドウモハッキリシテ居ラヌヤウニ思ヒマス、此内容ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス
ソレカラ此六十二億ノ中ニ勸業、農工、北海道拓殖ハ十二億アルト云フコトデアリマスガ、其外ニ普通銀行、或ハ個人其他ノ關係ノ貸付割合ガドウ云フヤウナ數字ニナッテ居リマスカ、ソレヲ御提出願ヒマス	ソレカラ抵當權及債權ノ讓渡、又抵當權ノミニ讓渡、是ガ分リマシタナラバ御示ヲ願ヒタイ、參考資料ニ關スルコトハ、ソレダケデアリマス 尙ホ一昨日頂戴シマシタ參考資料ノ條文中ノ疑義ガアル點ニ付テ御尋ヲ致シマス、大體金融調査會ノ決定ニ依リマス、抵當證券法ト云フモノ、主ナル目的ハ、從來普通銀行ガ貸付シテ居ルタ、ソレヲ資金化センガ爲ニ勸業、農工及拓殖銀行ノ銀行法ヲ改正シテ、之ニ抵當證券ヲ取扱ハサセル、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデゴザイマス、是ガ先ヅ第一、ソレカラ抵當證券ハ不動産抵當附債權ヲ手形ノ上ニ現ハシタヤウナ證券デアアル、斯ウ云フ御説明ニナッテ居リマシテ、後段ヲ讀ンデ見マス、債權ノ償還ハ前者ニノミ限ルヤウニモ書イテアリ、或ハ又手形ノ性	更ニ抵當證券發行ノ條件ト致シマシテハ抵當證券發行ノ特約ナキトキハ發行スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ意味ガ書イテアリマシテ、而シテ又後段ニ於キマシテ、抵當證券ノ發行ノ條件ト致シマシテ、先ヅ申請者ハ權利ニ關スル登記簿、債權ニ關スル證書竝ニ抵當權設定者、第三取得者及ビ債務者ノ同意書ヲ添ヘテ、管轄登記所ニ申請書ヲ提出致シマス、此點カラ見マス、云フト、抵當證券ノ發行ノ特約ナキ場合ニ於キマシテモ、即チ第三取得者及ビ債務者ノ同意書其他ノ權利ニ關スル書類ヲ添ヘテ管轄登記所ニ申請シタナラバ、手續ガ出來ルヤウニ書イテアル、又後段ニ於キマシテ債務者其他ノ	ソレカラ此證券發行ノ目的ハ、長期ニシテ低利資金ノ貸付ヲスル目的ニアルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、此點カラ考ヘテ見マス、從來普通銀行ガ一割デ例ヘバ百萬圓ノ金ヲ貸シテ居ッテ、其證券ヲ更ニ北海道拓殖銀行ニ八十萬圓金ヲ借りテ割引ヲスル、更ニ又其證券ヲ以テ勸業銀行カラ六十萬圓ヲ借りルト云フ場合ニ於キマシテハ、
更ニ前三箇年ニ於ケル勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行ノ競賣金額ノ割合ト、若シ普通銀行其他ノ競賣サレタ金額ノ割合ガ分リマシタナラバ、ソ	尙ホ貸付金額ノ中ニ低利資金ト普通貸金ガアリマスガ、只今申上ゲマシタ三銀行ニ於キマシテ、其割合ガドウ云フ數字ニナッテ居リマスカ、ソレノ御示ヲ願ヒマス	更ニ前三箇年ニ於ケル勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行ノ競賣金額ノ割合ト、若シ普通銀行其他ノ競賣サレタ金額ノ割合ガ分リマシタナラバ、ソ	更ニ前三箇年ニ於ケル勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行ノ競賣金額ノ割合ト、若シ普通銀行其他ノ競賣サレタ金額ノ割合ガ分リマシタナラバ、ソ

利子ノ歩合ト云フモノハ、ソレト違フノデアリマス、又特殊銀行ハ銀行法ニ依ッテ詰リ最低ノ貸付歩合ガ決ッテ居ルノデアリマスカラ、初メ普通銀行カラ借りマシタモノガ一割デアルトシテモ、其後八分トナリ六分トナルノデアリマスガ、債務者ニ於キマシテ此利子ノ支拂ガドウ云フ關係ニナルノデアリマスカ、此點モ一ツ御説明ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス

先ヅ大體其點ノ御説明ヲ承リマシテ又御尋シタイト思ヒマス

○長島政府委員 材料ノ御求メガゴザイマシタガ、甚ダ恐縮デゴザイマスケレドモ、御書キニナッタモノヲ後デ頂戴致シトウゴザイマス、滌除ノ分ハ一寸調べテアリマスカラ後デ差上ゲルコトニ致シマス、ソレカラ私ハ第二點、三點、四點ノコトヲ御答致シマシテ、一點ト五點ハ何レ大藏省ノ側カラ御答ニナルコト、思ヒマス

第二點ハ裏書關係ノ御尋ノコト、思ヒマスガ、是ハ大體ハ手形ノ裏書人ト略、同ジコトニナッテ居リマス、即チ最後ノ裏書人即チ最後ノ抵當證券所持人ガ、愈、抵當權ヲ實行致シマシテ、尙且其辨濟ノ足りナイ部分ガゴザイマスト、ソレハ裏書人へ、自己ノ前者ニ對シマシテ償還請求ヲ致スコトニナッテ居ルノデアリマス、此意味カラ申シマ

スト、詰リ總テノ裏書人ハ其後者ニ對シテ其抵當證券ノ金額ニ付キマシテ擔保ノ責任ヲ持ッテ居ルト云フコトニナルノデアリマス

ソレカラ第三ノ點デゴザイマスガ、此施行區域ハ今御問ノ中ニモアリマシタ通りニ、大體地方裁判所ノ所在地ト、ソレカラ市部ノ、市制ノ行ハレテ居リマス所ト、ソレカラ借地法ノ行ハレテ居リマス場合デアリマス隣接町村、サウ云フ所ダケニ限ラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ無論御承知ノ如クニ市制ノ行ハレテ居ル所ニハ、多少ハ事實

上宅地デナイ所モゴザイマスカラ、實際ニハ宅地デナイ所モ多少含マレルコト、存ジマスガ、大體ニ於テハ市街地ダケニナッテ居ルノデアリマス、其理由ハ私共ノ仕事ノ方ノ立場カラ申シマスト、此法律ハ相當新シイ法律デアリマシテ、尙且中々解釋ノムヅカイシ法律デアリマスカラ、餘リ手馴レテ居リマセ

ス所ノ田舎ノ方ノ登記所ナドニ此事ヲ行ハサセマスト、或ハ俄ニ煩ヲ生ズル虞ガアリマスカラ、漸次之ヲ擴ゲテ行クト云フ方針デ、先ヅ市街地ダケニ施行シタ方ダウデアラウカト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

一度ニ此法律ヲ全國ニ施スト云フコトハ、如何ニモ手廻リ兼ネルト云フヤウナコトカラデゴザイマス、詳シイコトヲ申上ゲマスト、色々手續ニ付キマシテハ非常ニ細カイ準備ヲ要スルコトデアリマスカラ、餘リ全國ニ擴ゲマシテ手違ヒヲ生ジマシテモ困ルト云フコトカラ、私ノ方デハ制限ヲシテ居ルノデアリマス、金融方面ニ付テモ相當ノ理由

ガアルノデアリマスガ、其點ハ大藏省ノ方カラ御説明ニナルコトト思ヒマス

ソレカラ第四點デアリマスガ、是ハ御質問ノ中ニモアリマシタヤウニ、抵當證券ヲ發行致シマスニハ特約カ、又ハ同意書ガ要ルコトニナッテ居リマス、即チ抵當權設定當時ニ於テ、此抵當權ニ付テハ抵當證券ヲ出シテ貰ッテモ構ハヌト云フ約束ガアッテ、ソレガ登記ガ出來テ居リマスガ、若シサウ云フ特約ガアリマセスケレバ、抵當證券ヲ發行スル時ニ、即チ登記所ヘ抵當證券發行ノ申請ヲ致シマス場合ニ、債務者ナドト

約束ヲ致シマス、其ドチラカ——詰リ初メ抵當權設定當時ニ約束ガアルカ、抵當證券ヲ發行スル際ニ於テ約束ガアルカ、何レカラ必要ト致シマス、抵當證券ガ愈、流通スルコトニナリマスト云フト、抵當權者ノ權利ハ非常ニ強クナリマスケレドモ、抵當權債務者ノ方ノ責任ハ重クナルノデアリマスカラ、特

約ヲ必要ト致シマス、然ラバ異議ト云フヤウナ方法ハ要ラナイデハナイカト云フ御疑問ト存ジマスガ、其特約後ニ於キマシテ、色々事情ノ變化ガ起リマシテ、或ハ其債務ガ辨濟サレテ居ルト云フヤウナコトカ、又ハ其後ニナッテ債務者ノ方ニ相殺ノ出來ルヤウナ反對債權ガ出來テ居ルト云フヤウナコトモアリマセウシ、又登記ト抵當證券發行ノ申請書トノ間ニ、色々喰違ッタ——

故意或ハ故意ニアラズシテ間違ッテ居ルヤウナ事柄モアリマセウシ、實際登記シテアル事柄デアリマシテモ、事實ト違フヤウナコトモアルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付テハ、結局異議ヲ言ハセルト云フ方法ヲ講ジタノデアリマス、サウ致シマセスト——少シ専門

的ノ問題ニナルノデアリマスガ、日本デハ登記ト云フモノヲ公示主義ヲ採ッテ居リマシテ、登記ガ假令シテアリマシテモ、事實ト違ヒマスト、必ズシモ登記通りノ主張ガ出來ナイコトニナッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ登記面ニ例ヘバ千圓ノ抵當權ガアリマシテモ、辨濟シテ無クナッテ居リマス

ト、ヤハリ抵當權ハ無クナッテシマフト云フ制度ヲ日本デハ採ッテ居リマスカラ、ソコデ登記簿ニ基イテ抵當證券ガ出マシテモ、何カ打切ル方法ヲ講ジテ置キマセスト云フト、其抵當證券ガ空

ボノモノニナルト云フ虞ガアルノデア
リマス、ソコデ餘程此點ハ考ヘマシタ
ノデアリマスガ、ドウシテモ異議カ何
カヲ言ハセテ打切ルヨリ仕様ガナイ、
ソコデ一定ノ期間ニ異議ヲ申立サセ
テ、異議ガナカタナラバ抵當證券ト云
フモノヲ完全ナモノニシテシマツテ、ソ
レカラ以後ハ一切債務者等ニ異議ヲ言
ハセナイ、抵當證券ノ所持人ニ對シテ
一切文句ヲ言ハセナイト云フヤウニ、
之ヲ打切ラナケレバ困ルト云フコトカ
ラ、異議ト云フコトヲ規定シタノデア
リマス、御氣附ノ如ク異議ガアリマス
結果ハ、多少抵當權者ニ對シテハ面倒
ナ手續ニナリマスケレドモ、日本ノ登
記法ト云フモノハ公示主義ヲ執ッテ居
リマス結果、ツマリ元ノ權利者デアリ
マス、抵當物ノ所有者ナドノ權利ハ非
常ニ重シテ居ルト云フ制度デアリマ
スカラ、ソレデドウシテモ打切ト云フ
事ヲシナケレバナラスト云フ關係カ
ラ、今ノヤウナ異議ノ手續ヲ執ラセタ
ノデアリマス、其代リニ異議ノ手續ヲ
執リマシテ若シ異議ノ申立ガナイ、或
ハ異議ノ申立ガアツタケレドモ理由ガ
ナイト云フコトニナリマスレバ、其後
ニ於テハ殆ド抵當證券ト云フモノハ完
全ナモノニナリマシテ、ソレニ付テモ
ウ債務者ハ何ニモ異議ガ言ヘナイ、安
心シテ流通サレルト云フコトニナル譯

デアリマス、一寸申上ゲ方ガ錯雜シテ
御判リニナラナカタカモ知レマセヌ
ガ、若シ御不明ノ點ガアリマシタラ更
ニ御答ヲ致シマス
○荒川委員長 一寸此際——抵當事務
ノ上カラ司法大臣ハ本會議デモ説明セ
ラレマシタガ、其實體ノ上カラ大藏大
臣ノ出席モ求メテ居ルノデアリマス
ガ、他ノ委員會、貴族院等ノ關係デ只
今マデ御出席ガナカタノデアリマス、
幸ヒ小川大藏次官ガ御出席ニナリマシ
タカラ、此案ノ實體ニ付テ此際御説明
ヲ御紹介シテ置クコトガ、議事ノ進行
ニ便利ト存ジマス、小川政務次官ノ説
明ヲ願ヒマス
○小川政府委員 今御質問ガアリマシ
タヤウデスガ、ソレハ後カラ御答申上
ゲルサウデス——ソレデハ私カラ大藏
省關係ノ法律案ノ提案ノ理由ヲ申上ゲ
テ置キタイト思ヒマス、大體本會議デ
説明ヲシテ置イタノデアリマスケレド
モ、更ニ當委員會ニ於テ御説明申上ゲ
テ置キマス、第一ニ日本勸業銀行法中
改正法律案、農工銀行法中改正法律案
及ビ北海道拓殖銀行法中改正法律案、
此三案ヲ一括シテ提案ノ趣旨ヲ申述ベ
タイト思ヒマス

千萬圓ニ上ッテ居リマス、而シテ此金融
ヲシテ居ル者カラ申セバ個人等ガ二十
七億五千萬圓デ最モ多額ヲ貸出シテ居
ル、次ニ普通銀行及ビ貯蓄銀行ガ十七
億圓ホド貸出シテ居リマシテ之ニ次イ
デ居リマス、主トシテ不動産金融ヲ業
トシテ居ル日本銀行、農工銀行及ビ北
海道拓殖銀行ガ十二億五千萬圓貸出シ
テ居リマシテ、全體ノ金額ノ中デ約二
割ヲ占メテ居ル現狀デアリマス、本來
申セバ不動産金融ノ專門機關ガ普通銀
行ノ不動産金融ニ占メテ居ル地位ニ
取ッテ代ルコトガ望マシイノデアリマ
ス、普通銀行、貯蓄銀行トシテモ、ソ
レガ經營上適當デアルト考ヘルノデア
リマスガ、實狀ハ此希望ヲ實現致シテ
居ラナイノデアリマス

ス、サテ不動産金融ノ圓滑ヲ圖ル上ニ
於キマシテ、不動産抵當附債權ヲ證券化
シテ、之ヲ容易ニ轉流通セシメ得ル
制度ヲ執ルト云フコトハ、甚ダ重要ナ
ル事柄デアリマシテ、此證券化ニ依ル
不動産貸出ガ兎角固定シ易イ、又隨
テ不動産貸出ハ行ハレ難イト云フ缺
點ヲ除去スルコトガ出來ルノデアリマ
ス、殊ニ我國ニ於テハ只今申述ベマシ
タ如ク、專門金融機關以外ノ金融機關
等ニ於テ、巨額ノ不動産貸付ヲ行ッテ居
ルヤウナ實情デアリマシテ、是ガ資金
ノ固定ガ我が金融上重大ナル問題デア
ルカラ、其固定ヲ解イテ更ニ資金化ス
ル方法ハ、現在ノ制度ニ於テハ十分設
備ヲ致シテハ居ラナイノデアリマス、
隨テ平時ニ於テハ勿論、金融界ニ變調
ノアル場合ニ於テモ常ニ不便ヲ感ジ、
又現在ニ於テモ洵ニ不便ヲ來タシテ居
ル次第デアリマス、サウシテ今度政府
ガ提案シテ居リマス、此抵當證券制度
ノ案ニ依リマスレバ、第一ハ公示ノ手
續ヲ要シナイデ、單ニ裏書ニ依ッテ不動
產抵當附債權ノ讓渡ガ出來ルコトニナ
リマシテ、頗ル簡便デアリマス

我國ニ於ケル不動産金融ノ金額ハ土
地建物及ビ各種財團ヲ含メマシテ、是
等ヲ抵當トスル貸出金額ガ六十二億四
十萬圓ニ上ッテ居リマス、而シテ此金融
ヲシテ居ル者カラ申セバ個人等ガ二十
七億五千萬圓デ最モ多額ヲ貸出シテ居
ル、次ニ普通銀行及ビ貯蓄銀行ガ十七
億圓ホド貸出シテ居リマシテ之ニ次イ
デ居リマス、主トシテ不動産金融ヲ業
トシテ居ル日本銀行、農工銀行及ビ北
海道拓殖銀行ガ十二億五千萬圓貸出シ
テ居リマシテ、全體ノ金額ノ中デ約二
割ヲ占メテ居ル現狀デアリマス、本來
申セバ不動産金融ノ專門機關ガ普通銀
行ノ不動産金融ニ占メテ居ル地位ニ
取ッテ代ルコトガ望マシイノデアリマ
ス、普通銀行、貯蓄銀行トシテモ、ソ
レガ經營上適當デアルト考ヘルノデア
リマスガ、實狀ハ此希望ヲ實現致シテ
居ラナイノデアリマス

一方不動産ヲ擔保トスル金融ノ必要
ハ我國經濟ノ關係上益、増加致シマス
シ、又此必要ヲ充シテ行クベキ制度ナ
リ方法ナリニ付テハ、十分ノ攻究ヲ重
ネナケレバナラス所デアリマス、數字
ニ付テ見マスレバ大正元年ニ於ケル不
動產抵當貸付金ハ十四億五千萬圓デア
リマシタガ、ソレガ昭和三年末ニナリ
マシテ六十二億圓ト相成ル如キ増加ノ
趨勢デアリマスカラ、不動産金融ノ圓
滑並ニ不動産金融機關ノ機能ノ増進ヲ
圖ルコトハ、我國經濟ノ發達上最モ重
大ナル關係ヲ持ッテ居ル事柄デアリマ
ス

第二ニハ土地建物又ハ地上權ト云フ
物の擔保ノ代リニ、裏書上ノ責任ヲ設
ケテアリマスカラ、證券上ノ權利ガ益、
確實ニナツテ、流通上ノ便宜ヲ増加セシ
メテ居ルコトニナリマス

第三ニハ抵當證券ニ記載シテアル以上ハ、既ニ債務者其他ノ利害關係人ニ於テ争ヒノ生ゼザル事項トナツテ居ルノデアリマスカラ、確實性が強イト云フコトニナルノデアリマス

第四ニハ裏書人ガ非常ニ信用ノアル人デアレバ、場合ニ依ッテハ擔保物件ノ調査ヲ或ル程度マデ省略シ得ルノデアリマス、サウ云フヤウナ長所ガアリマスノデ不動産抵當附債權ヲ證券化シテ、不動産金融ヲ圓滑ナラシメルコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、更ニ不動産金融ノ圓滑ヲ圖ル爲ニハ、我國ニ於ケル專門ノ金融機關ヲシテ、十分ニ機能ヲ發揮シテ其業務ヲ進展セシメ、特權デアアル所ノ債券ノ發行ニ依リマシテ、吸收シタル長期低利ノ資金ヲ一般ニ普及セシムルト共ニ、都鄙ノ金融ヲ疏通セシメルコトガ必要デアリマス、茲ニ抵當證券制度ガ創設セラレマスレバ、不動産金融機關ト致シマシテハ同様ノ意味ニ於テ不動産ヲ抵當トスル債權ノ資金化ニ關スル業務ヲ營マシメルコトガ、最も事誼ニ適フ所以デアリマス、即チ日本勸業銀行、農工銀行、及ビ北海道拓殖銀行ニ不動産ヲ抵當トスル債權及ビ抵當權ヲ質トスル定期償還貸付ヲ行フコトヲ得セシメ、又之ニ抵當證券ノ賣買ヲ行フコトヲ得ルヤウニ改正致シタイト考ヘルノデアリマ

ス、是等ノ業務ヲ認メルコトニ依リマシテ、其目的ヲ十分達セシメル爲ニ、現行法ニ於テハ日本勸業銀行及ビ農工銀行ノ定期償還貸付ノ限度ハ、拂込資本金及ビ積立金總高ニ相當スル金額ニ限ラレテ居ルノデアリマスガ、此際ハ其限度ヲ二倍ニスル必要ガアル、又農工銀行及ビ北海道拓殖銀行ニ於キマシテハ、其債券ノ發行限度ハ拂込資本金ノ十倍ニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、是等ノ銀行ノ中ニハ債券發行限度ノ餘裕ガ甚ダ僅少ノ額ニナツテ居ルモノモアリマスカラ、是モ亦十五倍マデ擴張スル必要ガアルト考ヘマス、此點ハ本會ニ於キマシテモ北海道拓殖銀行ニ付テ御質問ガアリマシテ、私答ヘテ居ッタ點デアリマス、其他市街地貸付制度ニ關スル規定、割増金付勸業債券ノ發行ニ依ッテ得タル資金ノ使途ノ制限ニ關スル規定、及ビ定期預金ノ使途ニ關スル規定等ニ關シマシテモ、ソレスレ改正ヲ加ヘル必要ガアリマス、斯ノ如キ抵當證券制度ヲ設ケマシタト同時ニ、不動産金融ノ專門機關ニ付キマシテ、之ニ伴フ種々ノ改正ヲ加フルコト、致シマシタガ、是ハ普通銀行等ガ不動産金融事務ニ大ニ進出スルコトヲ獎勵スル意味ヲ持ッテ居ル次第デアリマセヌ、政府今回ノ改正ノ結果ニ依リマスルモ、從來ノ方針ヲ維持シテ相

當ノ制限ヲ、監督上普通銀行ノ不動産銀行ニ加ヘテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、又日本銀行、農工銀行及北海道拓殖銀行ニ於キマシテハ、農業者、工業者又ハ漁業者ニ對シマシテ、十人以上ノ連帶アルトキハ、五ケ年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ッテ、無抵當貸付ヲ爲スコトハ現行法ニ於テモ既ニ認メテ居リマスガ、更ニ是等ノ人ニ對シテ長期ノ低利資金ヲ利用セシムル爲ニ、十ケ年以内ノ年賦償還ノ方法ニ依ル無抵當貸付ヲ認メルコトハ、中小農工業者ノ金融ノ上ヨリ見マスルモ適切ナル施設デアルト考ヘマス、又農工銀行及北海道拓殖銀行ニ於キマシテハ、市町村ノミニ對スル無抵當ノ貸付ヲ認メラレテ居リマスガ、今日ニ於テハ兩行トモニ資力モ相當充實シテ居ルノデアリマスカラ、道縣ニ對スル無抵當貸付ヲ認メルコトガ適當デアルト考ヘマス

尙ホ日本銀行ガ政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ヲ管理シテ居リマスガ、其中デ日本勸業銀行發行ノモノガ、其數量ニ於テ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマシテ、日本勸業銀行ヲシテ、日本銀行ノ代リニ之ヲ管理セシムルコトガ、便益ガ多イノデアリマス、又農工銀行ガ發行シテ居リマス農工債券ハ、現在ニ於テハ全國ニ廣ク普及サレテ居ルノデアリマシテ、是ガ元利ノ支拂等ノ關係デ農工銀行相互間ニ代理店トナルコトハ便宜デアリマスカラ、之ヲ認ムル必要ガアルト考ヘマス

以上ノ事項ニ關シテ、其大綱ニ付キマシテハ、金融制度調査會ニ諮問シタノデアリマスガ、同會ニ於テモ滿場一致デ可決セラレタ所デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アラントヲ希望致シマス

只今ノガ抵當證券法ニ關聯シタ日本勸業銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案ノ說明デアリマスガ、尙ホ此委員會ニハ之ニ關係アル國稅徵收法中改正法律案ト、貯蓄銀行法中改正法律案ガ併託ニナツテ居ルト思ヒマスガ、其方ノ說明モ此際致シマセウカ、ソレトモ其審議ハ後廻シニセラレテ、其際ニ御說明致シマセウカ

〔後廻シニ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○荒川委員長 政府ノ方デハドチラガ御便利デセウカ

○小川政府委員 國稅徵收法ハ之ニ關聯シテ居リマスカラ此際一寸……

○荒川委員長 ソレデハ國稅徵收法ノ分ノミヲ御説明願ヒマセウ

○小川政府委員 國稅徵收法中改正法律案ノ說明モ、本會議デ說明シテ置キ

マシタガ、此際尙ホ簡單ニ此處デ御説明申上ゲテ置キマス、現行法ニ於キマシテ納税者ノ財産ノ上ニ抵當權ヲ有シテ居リマス者ガ、國稅ニ對シ先取權ヲ行使シマス場合ニハ、其抵當權ノ設定ガ、國稅ノ納付ハ期限ヨリ一ヶ年前ニアルコトヲ證明シナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、然ルニ今回抵當權ノ制度ガ出來マシテ、納税者ノ財産ノ上ニ設定セラレマシタ抵當權ノ上ニ付テ、抵當證券ガ發行セラレタ場合、抵當權ガ輾轉シマシテ、其所有權者ガ何人デアルカ分明シナイ、隨テ稅務署ガ權利者ニ通知ガ出來ズ、其結果トシテ債權者ガ國稅ニ對シ先取權ヲ行使スル機會ヲ失フガ如キ場合ヲ生ズル虞ガアリマス、斯ノ如キ場合ニハ相當期間ノ猶豫ヲ與ヘ、其權利行使ノ機會ヲ得セシムル必要ヲ認メマシテ、玆ニ本案ヲ提出致シタ次第アリマス、尙ホ此度ノ改革ニ依リマシテ改正ヲ要スル點ヲ認メマスノデ、之ヲ改正スルコトニナリマシタ、何卒御審議ノ上速ニ可決アランコトヲ希望致シマス

○大久保政府委員 先程板谷サンノ御質問ニ對シマシテ、長島政府委員カラ御答ヘニナリマシタ以外ノ方面ニ付キマシテ、補足致シテ置キタイト思ヒマス、第一ハ金融制度調査會ノ決議ニ付キマシテ、普通銀行ト勸業銀行、農工

銀行及ビ北海道拓殖銀行等ノ關係ヲ、主ニ規律致シテ居ルヤウデアアルガ、目標ハ何處ニ在ルカト云フヤウナ、御趣旨ノヤウニ承リマシタ、此不動産抵當證券ハ敢テ普通銀行ト勸業銀行以下ノ銀行ノ關係ヲ規律スルバカリデアリマセス、目標ハ全體ノ不動産金融ヲ出來ルダケ圓滑ニ致シテ行キタイト云フ趣旨カラ、發足致シテ居ルノデアリマスガ、此不動産抵當證券ニ關スル事柄ノ利用ハ、何人デアアルカラ問ヒマセヌ趣意デアリマス、但シ御承知ノ通り之ヲ金融機關ノ方面カラ見マスルト云フト、不動産金融ヲ專門ニ取扱ッテ居ルト云フ風ニナツテ居リマスノハ、御述べニナリマシタ通り、日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、斯ウ云フモノガ其中心機關ニナツテ居リマス、全國ノ不動産資金ヲ出來ルダケ圓滑ニシテ行キタイト云フコトハ、誰モ彼モ望ムシ、利用モ誰モ彼モスルコトデハゴザイマスガ、併シ金融ノ實際ノ運用ノ方面カラ言ヒマスルト、是等ノ機關ハ專門機關ガ其方面ノ仕事ノ上ニ大キナ事態ヲ持ツ、言葉ガ過ギルカモ知レマセヌガ、結局ノ所是等ノ銀行ニ行カナイト云フト、十分ノ働キガ出來ナイデアラウ、其三ツノ中デモ殊ニ日本勸業銀行ハ全國ヲ舞臺トシテ居リマス銀行デゴザイマシテ、不動産ニ關スル限り、言ハバ

不動産ノ中央銀行ト云フ風ナ地位ニ居ルノデゴザイマスカラ、是等ノ三ツノ銀行ガ不動産證券ノ方ニ餘程働キヲスルト云フコトガ必要デアルト云フ風ナ趣旨デ、此三銀行法ノ改正ヲ、同時ニ金融制度調査會ニ提案致シマシタ趣旨デゴザイマス

ソレカラ抵當證券法ノ施行區域ノ事ニ付キマシテハ、既ニ司法省ノ政府委員カラ御答ヘ申上ゲテアル次第デゴザイマスガ、金融方面ニ付テ少シ御殘シニナツテ居ルヤウデゴザイマスカラ、是亦補足致シテ置キタイト思ヒマス、此案ハ委員長カラモ申サレマシタ通り、初メテノ試ミデアリマシテ、法律上ノ點、其他ノ事柄ニ付キマシテモ相當攻究スル餘地ガアリマス云フコトデ、此働キ方ニ付テハ主トシテ司法省ノ方デ御擔當下サツタ次第デゴザイマス、司法省ノ政府委員カラ說明シマシタ通り、直ニ之ヲ全國ニ一律ニヤッテ行クト云フコトハ、頗ル望マシイコトデハゴザイマスケレドモ、色々ノ立法ノ關係等カラ致シマシテ、先程御述べニナツタ通りデアリマス、何トナレバ、或ル期間ヲ置イテ實行スルト云フコトハ、用心深イヤリ方デアラウト思ヒマス、其局ニ當ル者ハ安心シテ實行ガ出來ルモノデアラウト思フノデアリマス、併シ運用ノ實際ハ一日モ早イ方ガ宜イト云

フ、實行上ノ必要モアルノデアリマス、殊ニ先程板谷サンノ御述べニナリマシタ通り、浦和町ト云フ縣廳ノ所在地ノ市制施行地、斯ウ云フ方面ニ付テハ、實行上宜カラウ、斯ウ云フヤウナ趣旨カラ出テ居ルノデゴザイマス、サウ致シマスト所謂農村ト云フヤウナ方面ニ於テハ、多少之ヲ利用スルニ遲イト云フ惧レモアリハシナイカト云フヤウナ憂ヒモアルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、金融制度調査會ニ提案サレタ時ニモ餘程攻究致シマシテ、先程小川政務次官カラ詳細御説明ニナリマシタ通り此抵當證券法ヲ創設致シマスルト同時ニ、全國ニ於キマスル所ノ不動産抵當權ヲ其儘デ、普通銀行、農工銀行、勸業銀行及ビ北海道拓殖銀行ニ質トシテ貸付ガ出來ル、謂ハ、農村方面ヲ主トシテ擔當致シテ居リマスル是等ノ銀行ハ、サウ云フ風ナ方面ニ固定貸ニナツテ居ル所ノ不動産抵當權付債權ヲ、今度法律改正ニ依リマシテ、直ニ斯ウ云フ風ナ不動産專門ノ金融機關ニ持ッテ行クトガ出來ルノデゴザイマス、其場合ニハ地方ニ及ボス所ノ影響ガ頗ル大キイデアラウト考ヘルノデゴザイマス、此意味カラ以テマシテ、同時ニ是等ノ仕事モ、是等ノ不動産專門ノ金融機關ニ致サセタイト云フ趣旨ヲ以テマシテ、玆ニ改正案ヲ提出シテアル次第

デゴザイマス、謂ハ、抵當證券ノ關スル限リハ、或ハ抵當證券ノ運用ニ依リ、或ハ債券其儘ヲ資金化スル直接ノ方法ニ依リマシテ、出來ルダケ不動産金融ノ圓滑ヲ圖リマシテ、急ナ要求ニ應ジタイト云フ風ナコトガ、金融調査會ノ決議ニナツテ居ル次第デゴザイマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

ツレカラシテ抵當證券ノ場合ニ付キマシテ、例ヘバ一割デ貸シテアッタモノヲ、今度ハ更ニ其次ニ譲渡シ轉轉シテ行ッタ場合ニ付テノ御尋ガアッタヤウニ思ヒマスガ、是ハ二ツノ場合ヲ考ヘテ居リマシテ、抵當證券ハ賣買ノ方法ニ依ッテモ行ハレマス、或ハ又モウ一ツノ方法トシテ、此抵當證券ヲ質トシテ譲渡シテ行ク方法モゴザイマス、何レノ場合ニ致シマシテモ、元ノ債務者ハ從前ノ契約ニ依ル義務ヲ有ッテ居リマス、其次ニ之ヲ譲受ケタ者ハ其初ノ債務者ノ立場ニ代ル譯デハゴザイマセス、御例示ノ場合ニ於キマシテハ、第一ノ債務者ハ、其通リノ義務ヲ負擔シテ行キマス、次ニ轉轉サレマシテ、其利息ガ安クナツタト云フヤウナ場合ニ、ハ、其次ノ債務者ノ關係ニナツテ行クノデゴザイマス、勸業銀行ガ之ヲ引受ケタ場合、或ハ買入レタ場合、若クハ質入レヲシタ場合ニハ、矢張勸業銀行ハ只今ノ法制ニ基イテ行クト云フ

仕組ニナツテ居ル次第デゴザイマス

○板谷委員 先程參考資料ノ御請求ヲ

申上ゲタノデアリマスガ、更ニ勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行ノ銀行法ノ全文ヲ掲載シタ書類ガアリマシタナラバ、御提出ヲ願ヒタイ

ツレカラ只今ノ私ノ質問ニ對スル御答辯ニ尙ホ疑義ガアリマスノデ、伺ヒタイト思ヒマスガ、只今小川次官ノ御説明ニ依リマシテ、大體此證券發行ノ趣旨ハ分リマシタ、併ナガラ此目的ガ不動産ノ金融ヲ圓滑ニシテ、長期ニシテ而モ低利ナ資金ノ貸出ヲスルニアルト致シマシタナラバ、今日不動産ノ資金ノ固定シテ最モ困ッテ居ルノハ農村デアアル、然ルニ新シイ試ミデアアルカト云フノデ、市制施行地即チ市街地ノミニ當分限ルト云フコトデアアルガ、金融調査會ノ決定事項ノ大體ノ眼目ガ、不動産金融ノ圓滑ニアルトシタナラバ、勿論農村ノ田畑ニ對シテ之ヲ適用スルコトガ當然デハナイカト思フ、然ルニ之ヲ除外シタノハドウ云フ不都合ト不便ガアルカラデアアルカ、私ハ是ハ大體ノ目的ニ副ハヌヤウニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマス

更ニ只今大久保サンノ御説明ニ依リマス、初メ普通銀行カラ一割デ借りテ居ッタ者ガ、更ニ拓殖銀行ニ之ヲ質ニシタ場合ニ於テハ、勿論最高歩合ノ規定ガアルカラ、高イ利子ヲ取ル譯ニ行カナイ、是ハ八分ニナル、第三者ガ裏書ヲシテ貸シタ場合ニ、勸業銀行ハ七分ニナリ、段々利子ガ低下スル、併ナガラ其利子ノ低下シタコトガ本元ノ債務者ニ均霑シナイ、債務者ハ矢張初メ普通銀行カラ借りタ一割デ、元利ヲ拂ハナケレバナラヌコトニナルトスレバ、債務者ニ取ッテハ何等利益ガナイノミナラズ、低利資金借換ノ機會ガナイヤウニ思フ、隨ッテ或ハ證券發行ノ特約條件ニ同意スルカドウカ、私ハ此點ハ非常ニ疑問ダト思ヒマスガ、之ニ對スル御見解ハ如何デアリマスカ

シタ場合ニ於テハ、勿論最高歩合ノ規定ガアルカラ、高イ利子ヲ取ル譯ニ行カナイ、是ハ八分ニナル、第三者ガ裏書ヲシテ貸シタ場合ニ、勸業銀行ハ七分ニナリ、段々利子ガ低下スル、併ナガラ其利子ノ低下シタコトガ本元ノ債務者ニ均霑シナイ、債務者ハ矢張初メ普通銀行カラ借りタ一割デ、元利ヲ拂ハナケレバナラヌコトニナルトスレバ、債務者ニ取ッテハ何等利益ガナイノミナラズ、低利資金借換ノ機會ガナイヤウニ思フ、隨ッテ或ハ證券發行ノ特約條件ニ同意スルカドウカ、私ハ此點ハ非常ニ疑問ダト思ヒマスガ、之ニ對スル御見解ハ如何デアリマスカ

更ニ又只今政府委員ノ御答辯ニ依リマス、特約條件ガアル、或ハ又第三者其他債務者ノ同意ガアッタ場合ニ於テ、抵當證券ト云フモノハ發行サレルガ、異議ノ途ヲ開イテ居ル、此異議ノ途ヲ開イテアルト云フコトニ付テ、債務者ガ若シ自分ノ立場ニ於テ不利益デアラナラバ、證券發行ニ必ズシモ同意ハセヌト思フ、折角資金ノ融通ヲ圓滑ニスル目的ニ於テ制定サレタモノガ債務者ニ何等利益ガナイトスレバ、同意スル譯ハナイカラ、隨ッテ此利用ト云フモノハ果シテ政府ノ見込通り行ハレカドウカ、此點ニ付テ私ハ非常ニ疑問ヲ持ッテ居ル者デアリマス、之ニ對スル御見解ハドウデアアルカ

御見解ハドウデアアルカ

ツレカラ此條文ヲ讀ンデ見マス、債務者ガ元本ノ辨濟ヲ爲サナイトキニハ、辨濟期日ノ三箇月以内ニ抵當權ノ目的物ニ對シテ競賣ノ申立ヲシナケレバナリマセス、又結果抵當證券ノ所持人ハ、競賣代金ヲ以テ辨濟ヲ受ケルコトニナリマスガ、若シ競賣代金ヲ以テ辨濟スルコトガ出來ナイ場合ガ生ジタトキニハ、其不足部分ニ對シテ其裏書ヲ爲シタ前者ニ對シテ、償還ノ請求ヲスルコトガ出來マス、此解釋カラ行キマス、期日ガ來タ場合ニ於テ、債務者ガ辨濟ヲシナイトキニハ、其抵當物件ヲ競賣シテ、其金額ニ充タヌ場合ニハ前者ニ請求スルコトガ出來ルガ、其他ニ於テ競賣以外ニ、此債務ニ對スル辨濟ヲ受ケルコト云フ途ガナイノデアアルカ、此點ニ付テ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○大久保政府委員 第一ノ御質問ハ勸令ヲ以テ執行地域ヲ主トシテ市街地ニ決定シタノハ、今日ノ農村ノ必要ヲ充サナイデヤナイカト云フ御質問ト承リマス、其點ハ金融制度調査會ノ時ニモ矢張質問ガ出タノデゴザイマス、私共ノ大體ノ希望ト致シマシテハ、先程モ申上ゲマシタ通り、都鄙ノ區別ナク全國一律ニ施行致シタイト云フ點ニ付テハ御同感デアリマスガ、民法其他此

第五類第十二號 抵當證券法(政府提出)外九件委員會議錄 第二回 昭和六年二月二十三日

處ニ出テ居リマスヤウナ法規ノ例外ヲ致ス重要ナル新シイ試ミデゴザイマスノデ、一方ニハ成ベク早ク之ガ實施ヲシタイト云フ希望モゴザイマス、先程司法省ノ政府委員カラ御答ニナリマシタヤウニ、成ベク早ク之行ハント欲スレバ、全國一律ニスルコトハ實際上非常ニ不便ガ多イ、ソレデ吾々ト致シテハ成ベク全國千八百ト云フ多クノ登記所ノ關係者ヲシテ習熟サセ、色々ナ點ニ於テ準備ヲ整ヘマシタナラバ、一刻モ早く都鄙ノ區別ナク實施シタイト云フ趣旨ニ於テハ、少シモ御質問者ト變リハナイノデアリマス、唯成ベク早ク實施シタイト云フ趣旨カラ、差當リ斯ウ云フ風ニシテヤッテ見ヨウト云フ考デアリマス、其實際上ノ不便ノ問題ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタ通り、地方農村ノ不動産抵當附債權ヲ資金化スル途ヲ同時ニ講ジタ次第デゴザイマス、ソレハ主トシテ地方農村ノ利用ガ多カラウト思ヒマス、ソレヲ竝ビ行ヒマス結果、多少其處ニ準備ノ時代ヲ置イテモ已ムヲ得ナイデハナイカト、實務者側トシテハ考ヘタ次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス	譯デアルカトノ御質問デゴザイマス、此抵當證券法ノ目的トシテ居リマス所ハ原債務者ノ債務ノ肩替リヲサセルト云フ趣旨デハ元々ゴザイマセス、茲ニ二箇年ナラ二箇年ト云フ期限デ、原債務者ガ抵當權ヲ債權者ニ渡シテ居リマス場合、其抵當權附債權ヲ出來ルダケ輾轉流通サセルト云フノガ、目標ニナッテ居ルノデアリマシテ、元ノ債務者ノ例ヘバ二年間ノ期間デ、一割ト云フ利息モノヲ直チニ肩替リサセルト云フ趣旨ニハ、出來テ居ラヌノデアリマス、原債務者ノ債務ヲ、肩替リ又ハ變更サセルト云フコトニナリマス、是ハ其債權債務ノ關係ヲ、直チニ變更スル目標デ行ハレルコトニナリマスカラ、サウナルト色々ナ場合ガ起ラウト思ヒマスガ、是ハ既ニ決定サレタ債權債務關係ヲ、例ヘバ二箇年ノ期間デ一割ト云フ債權ヲ持ッテ居ル人ガ輾轉融通サシテ、固定サセスト云フ仕組ニナッテ居ルノデ、元ノ債務者ニハチャント登記ヲシマシタ通り、其登記ガ所謂抵當證券ニ載ッテ居リマス通りノ、其權利義務ノ態様ヲ續ケテ參リマス次第デアリマス、丁度普通ノ手形等ニ付テモ同ジコトデゴザイマスノデ、既ニ手形ヲ發行致シマシタナラバ、其手形ノ期間中ハ其手形ノ債務關係ヲ途中ニ變ヘテ行フト云フ譯ニハ行カヌダラウト思ヒ	マス、既ニ有價證券ニナッテ輾轉シテ居リマス以上ハ、ソレヲ安ク買ヒマセウガ或ハ利息ヲ以テモト安ク、金額モ安ク買フカモ知レマセス、或ハ新タニ讓渡ヲ受ケタ者ノ關係ヲ拵ヘルツノ原因ニハナリマスケレドモ、元々ノ債權債務ニハ響キハアリマセス、元々ノ債權債務ヲ變更スルト云フ趣旨デハゴザイマセス、既ニ出來テ居リマス債權債務ヲ出來ルダケ固定ヲ避ケテ、輾轉融通ヲサセテ行ク、一萬圓ノモノヲ或ハ八千圓デ買フ場合モ起ルカモ知マセス、ソレガ爲ニ元々ノ債務者ノ一萬圓ト云フモノノ債務ニハ何等ノ影響ヲ及ボスノデハゴザイマセス、右様御承知サヲ願ヒマス ○板谷委員 私ノ質問ハ是デ保留シテ置キマス、政府ノ參考資料ヲ頂戴シタ後ニ、改メテ致シタイト思ヒマスカラ左様ドウゾ…… ○荒川委員長 承知致シマシタ ○大崎委員 私ハ只今板谷サンカラ色色御質問ガアリマシタガ、ソレト趣旨ノ違フ方面カラ、此抵當證券法案ガ社會ニドウ云フヤウナ影響ヲ及ボスカト云フコトデアリマスカラ、當局者ノ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス、一體此住宅ト云フモノハ非常ニ私ハ大切ナヤウニ思ッテ居リマスルノデ、殊ニ此住宅ニ不安ヲ來スト云フヤウナコトハ、上ノ	者モ下ノ者モ、殊ニ細民ニ至ッテハ非常ニ脅威ヲ感ズル次第デアリマス、隨テ此土地建物ト云フガ如キ不動産ハ、成ベク動カナイデ、サウシテ住ンデ居ル者ニ對シテ安心ヲ與ヘルト云フコトガ、私ハ政府トシテハ取ルベキ途ヂヤナイカト信ズルノデアリマス、デ現在ノ狀態ニ於キマシテ一番不安ヲ感ジテ居ル者ハ、先ヅ借家人ガ立退ヲ食フ、家賃ガ滞ッテ、日拂ヒガ出來ナイデ立退ヲ食フ、何處ニモ行ク家ガナイト云フヤウニ、ドウスルコトモ出來ナイ狀態ノ者ガ、數多クアルノデアリマス、是ハモウ司法大臣ハ能ク知ッテ居ラルコトデアリマスカラ、私ノ申上ゲル要ハナイト信ズルノデアリマス、ソレカラ又現在サウ云フ狀態ガ何ノ原因ニ依ッテ起ッテ來ルカト云ヒマス、多クハ土地建物ヲ賣買シテ、第三者第四者ノ手ニ渡ルガ爲ニ、此立退ト云フモノガ直クニ起ッテ來ルノデアリマス、是ハ政府トシテハドウシテモサウ云フヤウナコトハ成ベク防ガナケレバナラス、社會政策上防ガナケレバナラス、殊ニ現在ノ此不況時代ニ於テハ、勸業銀行ト云ハズ、或ハ普通銀行ト云ハズ、不動産ニ澤山ノ資金ヲ投ジテ居ッテ、是ガ回收ニ困ッテ居ル、若シ本案ノ如キモノガ通過シテ、是ガ輾轉致シマシテ、第三者、第四者ヨリ是ガ競賣ニナッテドン
---	--	---	--

ドント家屋ノ所有主若クハ土地ノ所有主が變ルト云フコトニナリマスルト云フト、此立退ト云フ不安ヲ感ズル人ガ多クナル結果ニナリハセスカト思フノデアリマス、斯様ナ次第デ此本法案ノ如キハ、金融業者若クハ資本家階級ニハ或ル程度ノ便宜ヲ與ヘルコトニナリマスルガ、實際ノ土地家屋ニ居住スル所ノ者ハ、是ガ爲ニ非常ナル脅威ヲ感ジマスルカラ、此邊ノコトヲ此立法者ハドウ云フヤウナ狀態ニ考ヘテ居ルカト云フコトヲ、一ツ御尋致シタイノデアリマス、ソレカラ今一ツハ本法ヲ施行スルニ於テ政府ノ經費ガ幾ラ位掛カリマスルカ、一ケ年ノ豫定ト致シマシテ——又之ニ對スル登録上ノ收入等ガ幾ラ位アリマスルカ、此「バランス」ヲ私ハ承知シテ置キタイ、此御答辯ヲ承ツテ又質問ヲ致シタイト思ヒマス

○長島政府委員

第一ノ御問ハ借家人借地人等ノ保護ガ抵當證券法施行ノ爲ニ害セラレルヤウナコトハナイカト云フ御尋カト存ジマス、御承知ノ如クニ借地人ニ付キマシテハ建物保護法ノ規定ガアリマシテ、其建物ニ付テ保存登記ヲ致シテ置キマスレバ、其後ニ土地ノ所有者ガ變リマシテモ、借地權ヲ以テ對抗スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、ソレデアリマスカラ、多クノ場合ニ於テ大體安全ナ地位ニ立ッテ

居ルヤウナ次第デアリマス、此借地借家關係ノ紛議ノ最モ著シイ市街地ニ於キマシテハ借地法ノ適用ガアリマシテ、相當ニ借地人ノ保護ガサレテ居ルノデアリマス、尙借家人ニ付キマシテハ、特殊ノ土地ニ付キマシテハ借家法ノ規定ガアリマシテ、借家人ノ保護ガ或程度マデ出來テ居リマスガ、其外ノ土地ニ於キマシテハ、仰ノ如ク家主ガ變ルト借家人ノ地位ト云フモノガ法律上ニ不安ニナル次第デアリマス、併シハ餘程ムヅカシイ問題デアリマシテ、借家人ノ權利ヲドノ程度ニ保護スルカ、又家主ノ權利ヲドノ程度ニ保護スルカ、結局家主ト借家人トノ關係問題デアリマスカラ、非常ニムヅカシイ問題デアリマシテ、抵當證券ノ發行ト云フ事トハ別問題ニ考ヘナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、成程抵當證券ガ發行サレ、バ、抵當權ノ讓渡ハ相當圓滑ニナルコトデアリマセウガ、併ナガラ若シ抵當權者ガ故意ニ其借家人ヲ苦シメルト云フヤウナ考デアリマスレバ、抵當證券ノ發行ヲ俟タズ致シマシテモ他人ノ名義ニ抵當權ヲ讓渡シテ、サウシテ競賣ヲシテ借家人ヲ追出スト云フコトモ出來ルノデアリマスガ、ソレハ必ズシモ抵當證券ノ發行ト云フコト、ハ伴ハナイノデハナイカト思ヒマス、唯併ナガラ多少輾轉スルコトガ多

クナルト云フ點ニ於テ、借家人ノ地位ノ不安ヲ招來スルヤウナコトハ多少アルカモ存ジマセウガ、併ナガラモトモト抵當證券ヲ利用スルト云フノハ、自己ガ抵當ニ取ツタモノヲ圓滑ニ金融ノ目的ニ使用シヨウト云フノデアリマスカラ、故意ニ借家人ヲ苦メル爲ニ之ヲ利用スルヤウナコトハナイノデハナイカト思ヒマス、又借家人ヲ苦メル積リナラバ、抵當證券ヲ發行シナクテモ、サウ云フコトガ行ハレルノデアリマスカラ、餘リニ此點ハ關係ガナイト考ヘマス、唯根本問題ト致シマシテ、今仰セノ借家人ト家ノ所有者ト、借家權ト家ノ所有權トノ關係ヲドウスルカト云フコトハ、是ハ仰ノ如ク別ニ殘テ居ル問題デアアルノデアリマス、第二ノ豫算ノ點ハ一寸今直グ御答ヘスルコトガ出來ナイノデアリマス、後ニ御答ヘ致シマス

○大崎委員

答辯デハ別ニ本法ヲ制定シナクテモ、地主ガ借地人若クハ借家人ヲ苦シメルト云フ意思デアレバ出來ルカラ、別ニ關係ハナイデヤナイカト云フヤウナ御答辯デアリマスガ、ソレハ私ハ大變ニ誤解シテ居リハセヌカト思フノデアリマス、多クノ場合ニ、現在ニ於テモ先程申上ゲマシタヤウニ立退トカ競賣トカ云フヤウナコトハ、必ズ一番最初ノ債權者デナクシテ、第二

者第三者ニ渡ツタモノガ多イノデアリマス、是ガ爲ニドレ位訴訟事件ヲ多クスルカ分ラナイ、サウシテハハ根本問題ニ互リマスケレドモ、土地建物ノ如キ不動産ノ如キモノハ、實際ハ資本化スルコトガ間違ッテ居リハセヌカト思フ、吾々ガ茲ニ住宅ヲ求メルニ於テハ、其住宅ノ如キモノハ、現在ニ於テ資本制度ニ偏ッテ居リマスルケレドモ、是ハモウ當然住ンデ居ル者ノ所有ニ歸サナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、其時分ニ住ンデ居ル所ノモノガ第三者ニ渡ルコトヲ現在ニ於テハ認メテアリマスケレドモ、是ガ輕々ニドンドン移轉シテ行クト云フコトハ、非常ニ不安ヲ感ズルコトデアリマスカラ、餘程ナ事情デナケレバ、サウ云フコトハヤッテハイケナイト思フ、何カ弊害ガアルノデアリマスレバ、無論本法ヲ制定シナケレバナラナイノデアリマスケレドモ、別ニ何モ弊害ノナイモノヲ、日本國民ノ全般ニ弊害ノナイモノヲ、經費ヲカケテ何モ本法ヲ制定スル必要ハナカラウト思フノデアリマス、大部分ノ日本國民、東京市民ノ大部分ハ借家人、借地人デアアルノデアリマス、借家人、借地人ヲ基礎トシテノ立法デアリマナラバ、私ハ喜ンデ贊成スルノデアリマスケレドモ、地主トカ、家主トカ大部分ノ者ノ便利、殊ニ金ヲ貸シタ人ノ

便利ヲ圖ル爲ニ、本法ノ如キモノヲ制定スルト云フコトガ私ハ惡イト思フ爲ニ、質問スルノデアリマスカラ、此大體ノ基礎ノ點ガ違フテ居ル、デアリマスカラ、今政府委員ガ申スヤウニ、借地人、借家人ヲ苦メルト云フ意思デアルナラバ——本法ヲ制定シテモ現在ニ於テ同ジコトダト言ヒマスケレドモ、本法ヲ制定スル爲ニ借地人、借家人ヲ苦メル機會ガ多クナッテ來ルト云フコトヲ、私ハ申上ゲタノデアリマス、デアリマスカラ、私ハドウシテモ根本問題ト致シマシテハ、此不動産、家ノ如キモノハ住ンデ居ル者ニ政府デ或ル程度ノ保障ヲ與ヘナケレバナラナイト云フヤウニ私ハ極端ニ思ウテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ考ヲ持ッテ居ル所ニ、是ガ詰リ資金化サレテ、金ヲ融通スルノニハ非常ニ便利デアリマスカラ此上ナイコトト思ヒマスケレドモ、東京市民トシ、國民全般トシ、殊ニ是ガ地方ニ施行サレテ、サウシテ小作地ニマデモ本法ガ適用サレルト云フコトニナリマシタナラバ、日本國民ノ大部分ハ之ニ不安ヲ感ズルコトニナルヤウニ思フノデアリマス、一體物ヲ貸スト云フコトハ間違ッテ居ルト思フ、貸スト云フコトハ餘ッタモノヲ人ニ貸シテ居ルノデアリマス、貸シタモノカラ利息ヲ取り、高イ地代ヲ取り、高イ家賃ヲ取り、サウシテ本

人ヲ苦メルト云フコトハ、私ハ精神上イケナイト思フ、今ノ資本制度ニ於テハ左様ナコトヲ言フト笑ハレマスケレドモ、私ハ左様ニ存ジテ居ルノデアリマスカラ、本問題ノ如キモノハ、此法律ヲ制定シナケレバ、社會ニ何カ非常ナ害ガアルト云フナラバ宜シウゴザイマスガ、何モ害ノナイモノヲ本法ヲ制定シテ、假令僅カナリトモ借地人、借家人若クハ小作人ト云フヤウナ者ニ不安ヲ與ヘルト云フコトハ、本案ヲ提出スル趣旨ガ、詰リ資本制度ニ餘リ重キヲ置イテ、サウシテ大衆ヲ無視シタル法案デハナイカト云フヤウニ思ヒマスカラ、此邊ノ點ハ大藏大臣ハ資本制度ノ立場カラ本法ニ賛成デアリマセウケレドモ、内務大臣、其他ノ社會政策ヲ考ヘル人ノ方カラハ、ドウ云フヤウニ考ヘテ居ルカト云フコトヲ、私ハ政府全體トシテ質問スル次第デアリマス、此點ヲ十分明瞭ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長島政府委員 ソコノ問題ニナリマス非常ニ根本問題デ、私ニモ能ク分ラナイノデアリマスガ、唯御承知ノヤウニ抵當證券ヲ發行致シマスノハ、家主トカ或ハ地主ガ現在デハ金融ニ困ッテ居リマスカラ、金融ノ便宜ヲ與ヘルト云フ意味デ抵當證券ガ出ルノデアリマス、其時ニ結果ハドウナリマスカ存

ジマセヌガ、別段ニ抵當ニ取ッタ者ガ借家人トカ借地人トカ云フモノヲ、特ニ虐メル必要ハナイノデアリマス、虐メル必要ハナイノデスカラ、何カ非常ニ抵當權者ト借地人トカ借家人ト喧嘩デモスレバ別デゴザイマスケレドモ、ソレデナケレバ——金融上已ムヲ得ズ處分スルト云フコトハアルカモ存ジマセヌガ、ソレデナケレバ無イ譯デアリマス、デスカラ抵當證券ガ出タガ故ニ例ヘバ借地人トカ借家人ト感情ノ衝突デモ起ッタ時ニ、之ヲ利用スルト云フ場合ニハ幾ラカ便利ニナルカモ知レマセヌガ、是有ルガ故ニ特ニ競賣ヲ餘計ヤッテ苦シメルト云フコトハ、私ハ出テ來ナイノデハナイカ、是ハ私ノ考デスカラ分リマセヌガ、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、根本論ニナリマス、一體是ハ私ノ申上ゲルコトデハナイカモ存ジマセヌガ、或ル程度ニ於テハ地面ヤ或ハ家ノ融通ガ利クト云フコトガ、多少家賃ヤ何カラ却ッテ安クスルト云フヤウナ原因ニナリハシナイカ、勿論惡家主惡地主ガ暴利ヲ貪レバ別デスケレドモ、サウデナケレバ多少融通ガ利クト云フコトガ、ヤハリ家賃ヤ地代ノ上ニモ好影響ヲ來タシハシナイカ、御承知ノヤウニ獨逸ノ戰後ヲ見テモ、餘リ借家人ナドヲ保護致シマス、家ト云フモノガ丸デ無クナッテシマッテサウシ

テ何處ノ家ニ住ハセルカト云フコトデ非常ニ喧嘩ガ起ッタト云フヤウナ狀態モアリマスカラ、是ハ私ノ領分デハアリマセスケレドモ、一概ニ抵當證券ガ出タコトガ、借家人借地人ニ非常ナ不利益ニナルカドウカト云フコトハ、私ハ能ク分ラナイ譯デアリマス

○板谷委員 只今私ノ質問ニ對シテ政府委員ノ御答辯ガ漏レテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、更ニ申上ゲマス、抵當證券法ハ手形法ニ類シタルモノデアッテ、大部分手形法ヲ應用スルト云フ御説明ニナッテ居ルノデアリマスガ、抵當證券ノ償還ヲ受ケルト云フコトニ付テハ競賣ニ依ル以外ニ、他ニ何等ノ方法ハ無イノデアリマスカドウカ、若シサウ云フ場合デアルト致シマシタナラバ、裏書人ガ輾轉シタ場合ニハ前者ニ對シテ、前者ハ前者ニ對シテ請求スルト云フヤウナコトデ、非常ニ煩雜ノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居リマス

○長島政府委員 是ハ若シ所持人ガ前者ニ償還請求ヲシヨウト思ヘバ、競賣ヲシテカラ其殘額ニ付テ償還ノ要求ヲシナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマスガ、併ナガラ談合デ所持人ガ返済ヲ受ケマシテ、抵當物ヲ返スト云フヤウナ程度ニ於テ返済ヲ受ケルト云

フコトハ、無論出來ル譯デアリマス、ソ
レカラ又競賣ヲスル時期ガドウモ今デ
ハ困ル、非常ニ安ク競賣ヤ何カラサレ
マス、今度ハ前者ノ方デ澤山ノ金ニ
付テ償還請求ガ參リマスカラ、サウ云
フコトガ裏書人ノ不利益ニナルコトガ
隨分アラウト思ヒマス、ソレデアリマ
スカラ規定ヲ置キマシテ、愈々支拂ノ請
求ヲ所持人ガ致シマシテ、支拂ガアリ
マセヌ時ニハ、ソレヲ裏書人ニ五日以
内ニ通知スルヤウニ致シマスカラ、裏
書人ハ今競賣サレテハ困ルト云フ時ニ
ハ、自分ノ方ヘ手形ヲ金ヲ拂ッテ戻シ
テ、自分ガ抵當權ヲ持ッテ居ルト云フコ
トガ出來ルヤウニナッテ居ル譯デアリ
マス、之ヲ要スルニ、必ズシモ競賣ヲ
シナケレバナラヌト云フコトデハナイ
ノデアリマス、唯今申シタヤウニ嚴格
ナ手續デ償還ヲ請求シテ行カウト思ヘ
バ競賣ヲシテ、サウシテ殘タ金デ行カ
ナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナル
譯デアリマス

○板谷委員 先程申上ゲタヤウニ、參
考資料ヲ頂戴シテカラ御伺スルコトニ
致シマス

○勝田委員 抵當證券法ノヤウナ法律
ハ、外國ニモアルヤウニ思ヒマスガ、
若シアレバ外國ノ法制ヲ戴キタイ、ソ
レカラモウ一ツハ抵當證券ノ「フオー
ム」ガ出來テ居ルト思ヒマスガ、若シ

出來テ居レバ、其「フオーム」ヲ御示ラ
願ヒタイ、手形ヲ論ズルニハ手形ガア
ルト、ハッキリ致シマスカラ、ドウ云フ
ヤウナ證券ヲ發行セラレルカト云フコ
トヲ、吾々ハ豫メ知ッテ置キタイと思
ヒマス

○大崎委員 只今政府委員カラ御答ガ
アリマシタガ、意見ガ違フカラ是ハ已
ムヲ得マセヌガ、尙一點御尋致シマス、
此資本制度カラ言ッテ、斯ノ如キモノデ
資本ノ融通ガ圓滑ニ行クト云フコト
ハ、私ハ趣意トシテハ賛成シテ居ルー
人デアリマス、別ニ本法制定ニ反對シ
テ居ル譯デハアリマセヌガ、唯社會制
度ノ上カラ考ヘナケレバナラヌノデ質
問スル次第デアリマス、若シ資本ノ融
通ト云フ點カラ、土地建物所有者ノ資
本ノ融通ヲ圓滑ナラシムル爲ニ、本法
ヲ設ケルト云フヤウナ御趣旨デアリマ
スナラバ、私ハ今一步進メテ不動産證
券ト云フヤウナモノヲ發行スル方ガ、
宜クナイカト思ヒマス、此點ニ於テ政
府ハドウ云フ譯デ抵當證券法ダケヲ提
出シテ、不動産證券ノ方ヲ躊躇サレタ
カ、其理由ヲ承リタイト思ヒマス

○長島政府委員 其點ハ相當研究致シ
タノデアリマスガ、現今デハ御承知ノ
ヤウニ登記デ以テ、總テノ不動産關係
ヲハッキリサセルヤウニナッテ居リマシ
テ、固定シタ登記簿ヲ見レバ何デモ分

ルコトニナッテ居リマス、地券ハ斯ウ致
シマスレバ、取引ヲ致シマス方ノ人間
ニハ、地券ニ依ッテ總テノコトガ分リマ
スカラ、非常ニ便利デアリマス、併ナ
ガラ第三者カラ見マスルト、地券ト云
フモノヲ見ル機會ガゴザイマセヌノ
デ、結局登記簿ヲ見ル方ガ、一般人ニ
ハ安心ナノデアリマス、ソレデ此流通
ヲ圓滑ニ致シマス、自然危險ガ伴フ
モノデアリマスカラ、大體私共ノ考ト
致シマシテハ、抵當權、詰リ現在ニ於
テハ之ヲ融通スル方面サヘ圓滑ニ行ケ
バ、土地ノ所有權自身ノ融通マデ、サ
ウ行カナクテモ宜イデハナイカ、ソレ
ガ爲ニ却テ第三者一般人ノ取引ヲ害
シ、其安全ヲ犧牲ニスル所マデ行カナ
クテモ宜イデハナイカ、現在ハ日本ハ
全然登記制度ニ依ッテ、登記簿ガ基礎ニ
ナッテ居リマスカラ、根本的ノサウ云フ
點マデ改メルノハ、現在ニ於テハ考ヘ
物デハナイカト云フノデ、必要ナ限度
ニ於テ、抵當權ダケニ於テ之ヲ認メタ
譯デアリマス、而モ此抵當證券制度ハ全
然同時主義ヲ棄テタ譯デハアリマセ
ヌ、後ニ申シマスヤウニ、發行當時ニ
於テハ、抵當證券ノ記載事項ガ、必ズ
登記簿ニ載ッテ居ナケレバナラズ、又其
抵當證券ノ記載事項ヲ變更致シマス場
合ニハ、同時ニ登記簿モ變更致スト云
フコトニナッテ居リマスノデ、ヤハリ登

記簿ヲ基礎ニシテ、現在ノ制度ヲ傷ケ
ナイ程度ニ於テ、抵當證券ノ融通ヲ圖
ルト云フ方ガ、現在ノ所デハ宜イノデ
ハナイカト考ヘル次第デアリマス

○大崎委員 只今ノ政府委員ノ御答
ハ、詰リ現在ハ登記簿ニ依ッテ總テヲ
證明シテ居ルカラ、金融業者ノ賣買ハ
却ッテ危險ガアルカラ、不動産證券ノ發
行ハ差控ヘタ、ソレデ現在ハ抵當權ノ
融通ノ場合ニ於ケル抵當證券ヲ發行ス
ルノダト思ハレマスガ、此點ハ私ハ遺
憾ニ思フノデアリマス、本法ニ對シテ
斯ウ云フコトヲ論ズルノハ少シオカシ
ウゴザイマスガ、總テノ法律ヲ制定ス
ル上ニ於テモ、先程申上ゲタヤウニ、
私ハドウシテモ不動産證券ノ方ニ於テ
ハ、不動産所有者ノ便宜ヲ圖ルノガ私
ハ趣意デハナイカト思ヒマスガ、本法
ノ趣旨ハ不動産ヲ所有スル者ノ便宜ヲ
圖ルノデナク、又借地人、借家人ノ便
宜ヲ圖ルノデナク、唯金融業者ノ便宜
ノミヲ圖ッテ居ルヤウニ思ヒマス、現在
ノ社會ノ狀態ニ於テ、一番幸福ナ地位
ニ居ラレ、又便宜ナ地位ニ居ラレルノ
ハ、私ハ金融業者デハナカラウカト思
ヒマス、金ヲ借リル人モ困ッテ居ルシ、
又借家人モ借地人モ困ッテ居ル、何レモ
困ッテ居ル者ノ方ハ、之ヲホッテ置イテ、
サウシテ一番便宜ヲ得テ居ル所ノ金融
業者ノ便宜ヲ圖ルト云フ法案ハ、私ハ

不本意デナラナイノデアリマス、政府ノ方針ガサウ云フ方針ナラバ、是ハ意見ノ相違ニナルカモ知レヌカラ、吾々ハ爭フテモ仕方アリマセヌガ、此點ハドウカ今少シ總テノモノヲ社會的ニ、又實際ノ所有者若クハ實際ノ當事者ヲ保護スルヤウナ法案ニ、是非共シテ戴キタイト云フ希望ヲ私ハ持ッテ居リマスカラ、色々ノ事ヲ質問申上ゲル次第デアリマス

只今ノヤウニ若シ不動産所有者ノ便宜ヲ圖ルト云フコトデアッテ、又不動産所有者ノ金融ヲ圓滑ナラシムルト云フコトナラバ、寧ロ一步進ンデ地券ノ發行ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ持ッテ居ル一人デアリマス、只今ノ御話デハ、地券ノ發行ハ政府ノ方デハヤナイト云フ御話デアリマスガ、本法ノ制定ハ私共カラ見マスレバ、ヤハリ地券發行ノ前提デハナカラウカト思ヒマス、是ハ現在ノ政府當局ハ地券發行ノ前提トシテ本案ヲ御制定ナサルノカドウカ、全然地券ト云フモノヲ發行スル意思ハナクテ、本法デ澤山ダト云フ御意思デア

ルカト云フ事ヲ御尋ネ致シマス
○長島政府委員 地券發行ハ、現在迄長ク行ハレテ居リマシタ登記制度ヲ、又ズト十數年——數十年前ノ制度ニ戻スモノデアリマシテ、是ハ不動産制度ノ根本的改革デアリマスカラ、只今

ヒマス、然ルニ本法ガ制定サレマスト、地所建物ヲ持ッテ居ル者ガ——自分ノ住宅以外ニ澤山ノモノヲ所有スルコトガマア間違ッテ居リマスガ、幾分ナリトモ安イ利息ノ金ヲ借りテ、サウシテ土地建物ヲ買ッテ、之ヲ貸付ケテ地代、家賃ヲ取ッテ其間ニ利益ヲ見ル、利益ガアルカナイカ知ラヌガ私ハ利益ガアルカラヤッテ居ルモノ、ヤウニ思フガ、是ハ社會ノ爲ニ惡イコトデハナカラウカ、自分ニ力ガアッテ、金ヲ借りナ

○大崎委員 前提デナイト云フ事モ御言明ニナリマシタカラ分リマシタガ、然ラバ今一點御尋ヲ致シマス、詰リ土地建物不動産ヲ所有シテ居ル者ガ、或場合ニ必要ガ生ジテ、資金ノ融通ヲ受ケルノデアリマス、私共ト致シマシテハ別ニ惡イトハ言ヒマセヌケレドモ、個人ガ如何ナル事ヲヤラウトモ、是ハ勝手デアリマスカラ、敢テ咎メル必要ハアリマセヌガ、政府ト致シマシテハ不都合ナ、社會ニ間違ッタと思フヤウナコトハ成ルベクヤラセナイヤウナ法律ニシナケレバナラナイヤウニ私ハ思

ラウカト思フ、ソレヲ只今申スヤウニ間違ッテ居ルコトヲ益々助長セシムルヤウナ法案ヲ政府ハ出サレタ、是ハ金融業者ノミガ便利ヲシテ、土地建物ノ所有者ハ、幾分ノ便利ハアルケレドモ、間違ッタコトヲシテ居ルト云フ點ニ於テ、自分ヲ益々苦境ニ陥ルコトヲヤラセル、自分ハ金ヲ借りラ土地建物ヲ買ヒ、之ヲ人ニ貸シテアル、併シ世ノ中ガ進ムニ隨テソレハ惡イコトデアルト云フコトガ人々ニ分ッテ來レバ、家賃地代ノ滯納ト云フモノハ益々殖エル、隨テ銀行ニ金ガ這入ラナイ、ソコデ銀行ハ、只今ノ法律ニ依ルト之ヲ第三者ニ賣ル、即チ競賣ト云フコトニナッテ來

テ、茲ニ第三者ト借家人ト家主トノ爭ヒニナル、其處ニ社會ノ思想ニ惡イ結果ヲ來スト云フコトニナルノデアルカラ、何カ特別ニ非常ナル必要ガナケレバ、本法案ノ如キコトヲヤッテハイケナイト思フノデアリマスケレドモ、此點ニ付テ、本法案ヲ出サレルニ付テドウ御考ニナルカ、私ハ解釋ニ苦シム、定シナケレバ社會ノ不安ガ除カレナイト云フ御理由ガアルナラバ、私ハ其理由ヲ御説明願ヒタイ、サウシテ又現在ニ於テ人カラ金ヲ借りテ土地建物ヲ買ッテ、サウシテ之ヲ第三者ニ貸シテ利益ヲ得ルト云フコトハ間違ッテ居ル、其

間違ッテ居ルコトヲ助長セシメルト云フ本案ヲ提出スル人ノ——政府ハドウ云フ理由デスノ如キ考ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○小川政府委員 他ノ政府委員カラモ

御答ヘニナッテ居リマスカラ、私カラ答ヘル程ノ必要ハアリマセスケレドモ、簡單ニ御答ヘ致シマスガ、何カ不動産所有者ノ便宜デアライ、金融業者ダケノ便宜デアルト云フヤウナ御意見ノ下ニ御質問ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ不動産所有者ノ便宜ニモナルと思ヒマス、一體金融ト云フノハ借リル人ト

貸ス人トノ間ノ關係デアリマシテ、貸ス人バカリノ問題デハナイノデアリマス、御質問ハ貸ス人ダケノコトヲ考ヘテ金融ノ事ヲ御議論ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、不動産金融ニ致シマシタ所デ、苟モ借リル人ノ方ノ便宜ヲ圖ラウト思ヘバ、資金ガ固定セヌデ、其時々々ニタッブリシタ資金デ貸シテ貰

ヘルト云フコトニナレバ、都合ノ好イコトニナリマス、ソレデ今抵當證券ヲ發行スレバ資金ガ固定シナイコトニナルノデアリマスカラ、ソコニ餘裕モ出來ル譯デスカラ、借リル人カラ言ヘバ又都合ノ好イ事モ起ッテ來ル譯デス

ソレカラ又一旦抵當證券デ資金ヲ得レバ、他ノ人ナリ他ノ不動産所有者ニモ貸スコトガ出來ル、斯ウ云フコトニ

ナリマスカラ、借リル人ノ便宜ニモナル、即チ土地不動産所有者ノ便宜ニナル、土地不動産所有者ノ便宜ニナルト云フコトハ、借家人ナリ何カ續イテノ人ヲイデメルト云フコトニナラヌと思ヒマス、アナタノ前提ガ少シ違ッテ居

ルデハナイカト思フノデアリマス

ソレカラ第二ノ問題ハ寧ロ社會制度ニ關係致シテ、資本主義ノ社會ガイカストシテ、社會主義ノ國家ヲ拵ヘヨウト云フヤウナ考カラ御議論ガ出來テ居

ルヤウニ思フノデアリマシテ、苟モ所有權制度ヲ認メテ居ル以上ハ、ソレノ賣買移轉貸借ト云フモノガ自由ニ出來

ルト云フコトガ良イ事ナノデスカラ、ソレヲ地代ヤ家賃ヲ取ラズニ置ク方ガ宜イト斯ウ云フコトニナレバ、總テノ土地建物ヲ國家ガ分配シテ行クト云フ

ヤウナ社會主義ノ制度ヲ認メナケレバナラヌ、サウ云フコトハ出來兼ネルト思フノデアリマス、現在ノ制度デア

ル以上ハソレノ賣買移轉貸借ト云フモノガ容易ニ出來テ、サウシテ金融モソレデ能ク出來ルト云フノガ、總テノ關係者ニ好イト云フコトニナルと思フノデア

アリマス、現ニ今日デモ土地ノ抵當貸付ガ六十二億ニ上ッテ居ルノハ、ドウ云フコトデアルカト云フニ、ソレハ金融機關バカリガ便宜デアライ、金融ヲ得

モノガ便宜ヲ得テ居ル、其必要カラスウ云フ金融ガ起ルノデアリマスカラ、社會主義ノ國家ヲ前提トシテノ御議論ハ、根本的ニ違ッテ居ルト思フノデア

リマス

○荒川委員長 是デ休憩致シマシテ、午後一時カラ……

○板谷委員 政府ニ參考資料ヲ色々注文シテ置イタノデアリマスガ、私共ハ其

參考資料ガ參ラナイト質問出來マセヌカラ、參考資料ガ參リマスルマデ、御

延期ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荒川委員長 ソレデハ參考資料ニ依ッテ、ナクテハ、質問ヲ進行ノ出來

ナイ御方モアルサウデアリマスカラ、政

府ニ於テハ成ベク速ニ參考資料ノ御提

出ヲ望ミマス、其以外ニ於テ御質問ノ

アル御方ハ、引續イテ御質問ヲ續行願

ヒタイト思フノデアリマス、隨テ一應

午後一時半カラ再開スルコトニ致シマ

シテ、休憩致シマス、左様御承知置ヲ

願ヒマス

午後零時十一分休憩

午後一時五十五分開議

○荒川委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○勝田委員 此度政府カラ御提出ニナ

リマシタル本案ハ、實際時代ノ要求ニ

副ッタ洵ニ結構ナ案デアルト、私共ハ考

ヘテ居ルノデアリマス、隨テ之ヲ御出

シニナリマシタ根本ノ趣旨ニ付キマシ

テハ、吾々ハ反對ノ意見トカ異存ヲ持

ツ者デアリマセヌ、唯此法案ノ全部ヲ

通ジマシテ、又此法文ノ各條項ヲ通ジ

マシテ、多少ノ疑問ガゴザイマスノデ、

此際其疑問ノ點ヲ明カニシテ置キタイ

ト思ヒマス、勿論疑問ト申シマシテモ、

全然眞ノ疑問ノ場合モアリマスシ、又

此委員ヲ通シテ此重大ナル法文ノ解釋

ヲ判明シタイ、斯ウ云フヤウナ趣旨ノ

下ニ御尋スルコトモアルノデアリマ

ス、其點ヲ豫メ申上ゲテ置キマス、尙

逐條的ノ質問デアリマストカ、特ニ大

藏大臣竝ニ司法大臣カラ御答辯ヲ願ハ

ナケレバナラヌ事項ニ付テハ、是ハ保

留致シテ置クト云フコトヲ申上ゲテ置

キマス、先ヅ最初ニ御伺致シタイノハ、

此抵當證券法ノ適用ヲ受ケマスルモノ

ハ、土地建物又ハ地上權ヲ目的トスル

抵當權、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデ

ゴザイマスガ、永小作權デアルトカ、

其他各種ノ財團、譬ヘテ申シマスレバ鐵

道財團デアルトカ、工場財團デアルト

カ云フヤウナモノハ、此法律ノ當然ノ

結果トシテ、包含セラレナイヤウニ思

フノデアリマスガ、此點ニ付テ政府委

員ノ御見解ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマ

ス

○長島政府委員 是ハ御尤ナ御尋デア

リマシテ、起案當時ニモ斯ウ云フモノヲ抵當證券ノ目的物トスルカドウカト云フコトヲ、相當考ヘタノデアリマスガ、大藏省ノ方トモ御相談ノ結果、斯ウ云フモノヲ抵當證券トシテ、有價證券化シテヤル程ノ必要ハ大シテアルマイト云フ御見込デアリマシタノト、ソレカラ私共ノ方カラ申シマシテモ、御承知ノヤウニ工場抵當法ソレ自身ガ非常ニムヅカシイ法規デアリマシテ、又抵當證券法ノ新シイ法規ヲ適用致シマスト云フコトニナリマス、二ツノ複雜シタ法規ガ相交錯致シマシテ、法律關係ガ相當ムヅカシクナルト云フヤウナ點カラ、抵當證券法ノ中カラハ今申上ゲタコトヲ除イタ次第デアリマス

○大久保政府委員 只今ノ勝田サンノ御質問ニ對シテ、長島民事局長ノ御答ニ少シ補充ヲ致シタイト思ヒマス、實ハ起案ノ當時ニ於テ、色々ノ抵當權ニ付テ大分問題ガ出マシタ、第一ニ永小作權ニ付テ考ヘテ見タノデアリマスガ、色々調ベテ見マス、永小作權ノミヲ抵當權トシテ居ル場合ハ極少ナイノデアリマス、ソレカラ地上權ノ場合モ實ハ餘リ端の例ガ少ナイヤウデアリマスケレドモ、建物ト共ニ抵當トスル場合ニハ、可ナリ多カラウト云フ理由カラ、地上權ハ加ヘタノデアリマス、先程仰セノ財團トカ云フヤウナモノハ、成程如何ニモ——一寸計數ガハッキリシタ計數モアリマセスケレドモ、調べテ見マシタ所ガ、一口當リノ財團ノ金額ナドハ中々多イヤウデアリマス、平均シテ見マスト大正元年度ハ十五萬九千圓、大正十年度ハ三十二萬八千圓、昭和元年度ハ五十七萬四千圓、昭和三年度ハ百一十一萬一千圓ト云フ風ニ、中大口ノモノデゴザイマスカラ、此案ノ目的トシテ居ルヤウナ實行上ノ問題カラ致シマシテ、個人ニハドウデアラウカ、其他船舶等ニ付テモ色々考ヘテ見マシタガ、要スルニ結論トシテ本制度ハ我國ニ於テハ初メテノ制度デアリマス、先ヅ必要ノ多イト思ハレル土地建物ニ付キマシテ實施ヲシタ方ガ、此際適當デハナカラウカ、尙ホ經驗ニ徴シマシテ實際ニ此制度ガ運用宜シキヲ得ルナラバ、漸次追加シテ行クト云フコトニ付テハ、毛頭異存ハゴザイマセ、要ハ創設當時デアリマスカラ、成べく此程度デ一ツ實績ヲ徴シテ見ヤウデヤナイイカト云フ趣旨デアルノデアリマスカラ、一寸補充致シテ置キマス

○勝田委員 只今ノ御答辯ノ御趣旨ハ能ク分リマシタガ、尙ホ其點ニ關聯致シマシテ御確メ致シテ置キタイノデアリマスガ、工場抵當法ノ第二條第三條デアリマス、工場ニ附加シテ一體ヲ成シタルモノハ、抵當權ノ目的物ニナツテ居ルヤウデアリマス、アノ規定ノ適用ヲ受ケマスモノハ此本抵當證券法ノ第一條ノ適用ヲ受ケル範圍内デアルヤウニ考ヘテ居リマスガ、如何デアリマス、此點ヲ明ニシテ置キマス

○長島政府委員 能ク研究ヲ致シテ居リマセヌノデ分リマセヌガ、大體ハ私モサウ云フ風ニ思ッテ居リマス

○勝田委員 若シ左様デアリマスレバ、私ハ豫メ政府ニ對シマシテ參考書ノ提出ヲ求メテ居リマス意味ニ於テ、例ノ抵當證券ノ書式ヲ御示ヲ願ヒタイト思ッテ居リマスガ、普通ノ抵當權デゴザイマス、比較的簡單ニ抵當證券ナルモノハ作り得ルト思ヒマス、若シ只今政府委員ノ御答ヘニナルヤウナモノマデモ包含致シマス、斯ウ云フコトニナリマス、是ガ法律ノ規定ノ解釋カラ申シマスレバ正シイコトデアリマスカ、サウ云フコトニナリマス、此抵當證券ノ作製ト云フモノガ、非常ニ複雜ニナツテ來ハシナイカ、少クトモ此證券面ニ現ハレマス文字ノ數カラ申シマシテモ、非常ニヤ、コシクナツテ來ルヤウニ思フノデアリマス、勿論御如才ナイコトト信ジマスガ、サウ云フヤウナ點モ十分ニ御參考下サイマシテ、抵當證券其ノモノヲ御作リ願ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ル者デアリマス

ソレカラ次ニ矢張根本的ノ問題デゴザイマスガ、抵當證券ヲ發行致スニ付キマシテノ原因——證書デアリマス、是ハ規定ニ依リマス「手形其ノ他ノ債權ニ關スル證書」ト云フヤウナコトガ第三條ノ三ニ書イテゴザイマス、抵當證券ハ私ガ申スマデモナク、若シ此制度ガ行ハレマスレバ一種ノ有價證券同様に效用ヲ發揮スルモノデアラウト思フノデアリマス、例ヘバ有價證券デアルトカ、株式引替證デアルトカ、形式ハ多少違ヒマスガ、サウ云フヤウナモノハ同ジヤウニ經濟的效果ヲ持ツモノト思ヒマス、然ルニ此原因ガ手形其他ノ證書ト云フコトデ、相當不正確デアリマス、根本ニ爭ガ起タ結果、折角流通シテ居リマス所ノ抵當證券ノ基礎ニ動搖ヲ與ヘ、隨テ流通ガ甚ダ面白クナイヤウナコトニナルコトヲ心配致シマス、寧ロ私ハモウ少シ明確ナル證書、例ヘバ公正證書ヲ以テ契約シテ居ルモノニ限ッテ、抵當證券ヲ發行セシムルト云フヤウナコトニシタ方ガ宜シイヤウニ思ヒマスガ、此點ニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○長島政府委員 第一ノコトハ御質問デハナイヤウニ思ヒマスガ、念ノ爲ニ一寸申上ゲテ置キタイト思ヒマス、何レ抵當證券ノ書式ハ、明日デモ早速差出ス積リデ居リマスケレドモ、此書式ハ省令カ訓示カ何カノヤウナモノデ定

メル積リデアリマスガ、今の確ノモノハゴザイマセスガ、少クトモ此法案ノ設定當時ニ豫期シテ居リマシタコトハ、例ヘバ土地ノ表示ニシマシテモ非常ニ澤山ノ場合ガ想像サレマスノデ、小サナ證券面ニハ書き切レナイヤウナコトガゴザイマス、サウ云フトキニハ目錄カ何カ附ケテ表示スルト云フ考デゴザイマスカラ、工場抵當法第二條ノ關係ニ於テモ、御趣旨ニ副フヤウナコトガ大體出來ルト考ヘテ居リマス

ソレカラ第二ノ問ハ、是ハ債權者ノ便宜ヲ考ヘマスカ、債務者ノ便宜ヲ考ヘマスカト云フ二ツノ問題デアリマシテ、此權衡問題ガ常ニ本法ヲ支配シテ居ルデアリマス、抵當證券ノ發行ヲ要求スル債權者側、竝ニ此所持人ノ利益ヲ保護スルカ、債務者ノ利益ヲ保護スルカト云フ點ハ非常ニムヅカシイ點デアリマス、此點ニ付テハ債務者ノ利益モ相當保護シナケレバナラヌト云フ所カラ、異議ノ申立權ト云フモノヲ認メマシテ、一定ノ期間ニ異議ヲ申出ス、異議ヲ申出サナケレバ打切りニシラ抵當證券ヲ出ス、其代リニ債務者ガ其後ニ於テハ善意ノ抵當證券ノ取得者ニハ對抗スルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居ルデアリマス、ソコデ異議權ト云フモノヲ債務者ニ認メテ居リマスノデ、相當債務者ノ利益ト云フモノハ

是デ保護サレ、又半面ニ於テハソレニ依テ抗辯ヲ打切ルト云フコトガ出來ルダラウト云フヤウナ考カラ、此三ノ債權ニ關スル證書ト云フ方ニハ、餘リニ非常ナ制限ヲ置カナイコトニ致シタ次第デアリマス

○勝田委員 次ニ御伺ヒ致シタイ點ハ、是ハ本會議デモ確カ政府委員ガ御答辯ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、御答辯ノ御趣旨ヲ今一應明確ニシタイト思ヒマス、ソレハ此法律案ヲ拜見致シマス、一個ノ債權ニ對シテ一個ノ證券ガ發行サレルコトニ相成ツテ居ルト思ヒマスガ、左様デゴザイマスカ

○長島政府委員 御問ヒノ通りデアリマス

○勝田委員 サウ致シマス、若モ當事者間ニ於キマシテ合意上抵當證券ヲ三通ニシテ呉レトカ、三通ニシテ呉レトカ云フヤウナ場合ガアリマシテモ、ソレハ出來得ナイコトニナリマセウガ、本議場ニ於ケル政府委員ノ御答辯ハ、其點ニ付キマシテ、何ダカ出來ルヤウニ聽イテ居ッタノデゴザイマスガ、其點ヲ一ツ明確ニドチラデモ宜シウゴザイマスガ、明確ニ願ヒタイ

○長島政府委員 或ハ本議場デ御答致シタ言葉ガ足りナカッタカモ知レマセスガ、詰リ登記ノ上、デ一ツノ抵當權、一ツノ債權ニナツテ居リマスレバ、ドウ

シテモ是ハ抵當證券ハ一ツニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、抵當證券ヲ若シ二ツニ分ケタイト云フヤウナコトニナリマス、利害關係人ノ同意ヲ得マシテ、登記ノ上カラ分ケテ來ナケレバ、抵當證券ハ二枚ニナリマセヌ、併ナガラ今申シマシタヤウナ次第デアリマスカラ、抵當證券ヲ二ツニ分ケルト云フ手段ガ絕對ニナイ譯デハアリマセスガ、相當手續ガ面倒ニナル譯デアリマス

○勝田委員 ソレデ能ク分リマシタ、結局ソレデ見ルト、一箇ノ債權ニ付テ一箇ノ抵當證券ト云フヤウニナルト考ヘマス、是ハ成程理窟カラ申セバソレデ宜イノデゴザイマセウ、又其方ガ總テノ點ニ於テ便利ダラウト考ヘマスガ、一方經濟的方面カラ考ヘル時、只今仰シヤッタヤウナ登記カラ分ケルノデナク登記ハヤハリ其儘ニシテ置イテ、一箇ノ抵當權ニ付テ二枚三枚ノ抵當證券ヲ發行セラレルヤウナ方法ガナイモノデアラウカ、ドウカ、斯ウ云フコトヲ一ツ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ質問ト申シマスガ、希望ト申シマスカ分リマセスガ、サウ云フコトハ出來ナイモノデセウカ、御考ヘ下サツテ居ルノデセウカ、其點ニ付キマシテ伺ヒタイト思ヒマス

○長島政府委員 是ハ實ハ不動産ノ法

制ニ關スル根本的ノ問題デアリマスガ、兎ニ角此案ハ前ニ申シタヤウニ、登記制度ト云フモノヲ全然捨テナイデ、抵當權ダケニ付テ抵當證券ヲ出スト云フ主義ヲ執ッタモノデアリマスカラ、結局ハ、ドコマデモ登記簿ト抵當權ト云フモノガ一致シナケレバナラヌト云フ主義ヲ執ッタノデアリマス、ソコデ例ヘバ十六條デアリマスガ、抵當證券ヲ發行シタ時ニハ、抵當權ノ變更ト云フモノハ、不動産登記簿ノ定ムル所デ、先ヅ變更ノ登記ヲシ、而シテ抵當證券ノ記載ヲ變更シナケレバ、第三者ニ對抗スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニシテ詰リ元ニナルノハ登記簿デ、ソレニ基イテ抵當證券ガ出ル、唯、其點ハ裏書ニ依ツテ出來ルト云フ主義ヲ執リマシタモノデアリマスカラ、抵當證券ヲ分ケルト云フコトニナレバ、ドウシテモ元ノ登記簿ハ分ケテ來テ呉レナケレバ困ルト云フ主義デ出來タノデアリマス、是ハ非常ナ根本問題デアリマシテ、詰リ不動産ノ法制ニ付テ登記制度ト云フモノヲ根本的ニ取換ヘレバ又別デアリマスガ、先ヅ現在ノ所デハ、現狀ニ即シテ此位ガ宜カラウト云フノデ、斯ウ云フ風ニ致シタ次第デアリマス

○勝田委員 次ニ伺ヒマスノハ、午前ニ板谷君カラ御質問ニナリマシタ點ニ

關聯スルモノデ、此抵當證券ハ其所持人ガ支拂ヲ受ケマセストキニハ、手形ナド、違ッテ直チニ裏書人ニ請求ガ出來ナイコトニナッテ居リマシテ、ヤハリ競賣ヲ致シマシテ、代金ニ不足ガアツタ場合ニ、請求ヲスルコトニナッテ居ルノデアリマス、ヤハリ是ハ手形ノヤウニ、モウ一步此抵當證券ノ效力ヲ強メル、即チ此法律ノ狙ッテ居ル所ヲモウ少シハッキリセシメル意味ニ於キマシテ、手形ト同様ニ直ニ裏書人ニ對シテ償還ノ請求ヲスルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、ソレニ對スル當局ノ明解ナル御答辯ヲ、利害ノ得失ノ上カラ伺ッテ置キタイ

○長島政府委員 償還請求ト云フコトハ裏書人ニハ利害關係ノ相當ニ重大ナモノデ、是ハ申上ゲルマデモナイ、御承知ノ如クニ手形ニ付テモ、手形ノ呈示期間ナドガ非常ニ嚴格ナ短イ期間ニナッテ居リマスシ、又拒絕證書ノ作成等色々嚴格ナル手續ガアリマシテ、之ヲ出サナイナラバ償還請求ガ出來ナイヤウニナッテ居リマス、是ハ御承知ノ通りニ償還ヲ受ケル者ノ方面カラシテ、手形ナドモ隨分考慮致シテ居ルノデアリマス、償還請求ヲ受ケルコトソレ自身ガ、非常ニ、何ト言ヒマスカ、商取引ノ冷酷ニ出來テ居リマスカラ、其結果ハ償還請求ヲスル前ノ手續ニ付テ

ハ、ヤハリ手形ナドモ相當ニ嚴格ナ手續ヲ、一方ニ於テハ設ケテ居ル次第デアリマス、抵當證券ニ付テハ、少ク共抵當ガ附イテ居ル所ノ證券デアリマシマシテ、裏書人ハドコマデモ抵當權附ノ債權ヲ裏書シテ補填シテ行クト云フ考デアル、抵當權ト云フモノニ付テ自分ガ裏書ヲ受ケル時ニ、ソレヲ當テニシテ裏書ヲ受ケテ居リマスカラ、自分ガ償還ヲ受ケル時ニモ、少ク共抵當權ノ範圍ニ於テハ自分ノ責任ガ輕イモノデアルト云フコトヲ豫期シテ居ルモノト見ルノガ宜イハデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、所持人ノ側カラ言ヘバ多少不便デアリマスシ、又抵當證券ノ流通性ト云フ所カラ申スト聊カ不便ノ點ガアリマス

ガ、裏書人ノ利益、又自分ガ裏書ヲ受ケ、裏書ヲスル時ノ心持カラ申スト、矢張抵當權ヲ取ッテ居ル者トシテノ考ヲ、相當見ナケレバナラヌヤウニ思フノデアリマス、實ハ白狀シマス、此程度デモ非常ニ債券的ノ色彩ガ多クナッテ、ドウモ抵當附ト云フ色彩ガ多少少イヤウニ思ハレルノデアリマスガ、仰セノ如ク致スト、殆ド抵當證券ト云フ名前ガナクナッテシマフノデ、此程度ノコトハ已ムヲ得ナイカト思ッテ居リマス

○勝田委員 私モ左様ニ考ヘルノデアリマス、隨ッテ此抵當證券ノ狙ッテ居ル所ガ、ドウモ手形的デアルト考ヘマシタカラ、サウ云フ御問ヲシタ譯デアリマス

次ニ御尋シタイノハ、此法律ニ依ルト此抵當證券ハ一番抵當權ノミナラズ、二番三番ノ抵當權ニ付テモ發行セラレルコトニ相成ッテ居リマス、實際ノ作用カラ申シテ、二番抵當權、三番抵當權ヲ以テ抵當證券ヲ發行セラレルヤウナコトハ、或ハ少ウゴザイマセウ、併ナガラ法律ノ建前カラ矢張左様ニ相成ッテ居リマス、又理窟上カラスレバ、ソレガ當然デアルト思ヒマスガ、理窟ハ理窟トシテ、此法律ハ經濟的ノ效用ト云フ所ニ重キヲ置カナケレバナラヌ、ソコデ先程償還請求ト云フヤウナ問題モ出テ來タノデアリマスガ、此抵當證券ノ經濟的ノ效用ヲ強ク明確ニセシメル爲ニハ、寧ロ二番三番ト云フヤウナ價值ノ頗ル不安定デアル抵當權ニ對シテ、證券ヲ發行セシムルト云フヤウナコトガ、抵當證券ノ經濟的效用ヲ少カラシメル所以デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、其點ニ關スル政府當局ノ御説明ヲ伺ヒタイ

○長島政府委員 實ハ前ニモ申シタヤウニ、裏書人ニ償還ノ義務ガゴザイマスノデ、假ニ第一ノ裏書人ガ非常ニ信用アル銀行デアレバ、二番抵當權ノ抵

當證券ガ出タヤウナ場合デモ、恐クハ其信用アル銀行ガ二番抵當ニ餘リガアルカドウカト云フヤウナコトヲ十分ニ調査シテ、之ヲ取ルモノト見ナケレバナラヌノデアリマス、其銀行ガ裏書ヲスレバ、結局自分ヘ償還ガ來ルノデアリマスカラ、信用ノアル銀行ガ第二ノ裏書ヲスル時ニハ、之ヲ十分調査シテ致スコト、思フノデアリマス、前ニ御斷リシタヤウニ、此法律ハ一方ニ於テハ抵當權、他方ニ於テハ裏書人ノ信用ト云フコト、兩者相俟ッテ居ルノデアリマスカラ、場合ニ依ッテハ二番抵當權ノヤウナモノニ付テモ、抵當證券ガ出テ、ソレガ完全ニ流通スルト云フヤウナコトモアリ得ルコト、存ジマス、勿論仰セノヤウニ非常ニ異例デアルカモ知レマセヌガ、絶無デハナイノデアリマス、特ニ此法律ニ付テ、二番三番ノ抵當ニ付テ、抵當證券ノ發行ヲ除外スルマデノ必要ハナカラウト云フノデ、設ケタ次第デアアルノデアリマス

○勝田委員 次ニ御伺致シタイ點ハ、多少問題ヲ離レルノデゴザイマスガ、斯ウ云フコトヲ一ツ——是ハ大藏當局ノ方ニ御伺スルノデスガ、此抵當證券ノ目的ニナッテ居リマス不動産ニ對シマス租税、公課、是ガ相當ノ御斟酌ヲ給ハルベキ事項デハナイカト思フノデアリマス、例ヘバ抵當證券ヲ持ッテ居

用アル銀行デアレバ、二番抵當權ノ抵

リマス人ハ、是ハドン／＼抵當證券デアルト云フノ心安シテ買ッテ居リマス、不動産ノ價格ヲ其儘ニ見テ買ッテ

居リマス、所ガソレニハ租税公課ガ澤山課カッテ居リマシテ、結局競賣シテシマヒマスト餘リ澤山残ラナイ、斯ウ云フヤウナコトニナル事例ガアルノデアリマス、無論現在デモアルノデアリマスガ、併ナガラ抵當證券ヲ發行セラレマシテ、證券ガ流通セラレルト云フコトニナリマス、斯ウ云フヤウナ點ニ付テモ抵當證券ノ流通性ヲ力強クセシムル爲ニハ、税法ノ上ニ於テ御考慮願ハナケレバナラス點デハナイカト思ヒマス、例ヘバ抵當證券ヲ發行セラレマシタル不動産ニ付キマシテノ、所謂國稅ニ付キマシテハ其不動産其物ニ關係ノアル税金以外ノモノハ課ケナイトカ、何トカ云フコトニ依リマシテ、多少ノ制限ヲソコニ加ヘテ行クト云フコトハ、理窟ヲ抜キト致シマシテ不動産證券ヲ圓滿ニ流通セシムル上ニ於テ、相當必要ダラウト思ヒマスガ、之ニ付キマシテ大藏當局ハ相當御考下サツタノデアリマス、ソレトモ何等御考慮ハナカッタノデアリマス、伺ヒタイノデアリマス

○小川政府委員 租税公課ノ問題ハ、全然別問題デアリマス、抵當證券ヲ發行スルガ故ニ、租税ヲ輕クスルト

カ何トカ云フコトハ起ッテ来ナイノデアリマス

○勝田委員 私ハサウ云フコトヲ伺ッタノデハゴザイマセヌ、別問題デアルコトハ百モ承知シテ居リマス、苟モ抵當證券ヲ出シテ、不動産證券ノ流通ヲ圓滿ニスルト云フ御意思ガアル以上ハ、租税ノ方デ抑ヘラレテシマツテ、抵當證券ニアル不動産ガ一番抵當デアルコト思ッテ居ッタ所ガ、豈圖ランヤ租税ノ爲ニ二番抵當ニナツタ、斯ウ云フコトデアリマス、抵當證券ノ經濟的ノ效用ハ脅サレルノデアリマス、恐ラクハ此法律ハ司法省ガ法文上ノ責任ヲ持ッテ居ラレルノデゴザイマセウガ、此法律ヲ御作リニナル根本ノ趣旨ハ、大藏省ノ方カラ出タト云フコトハ、參考資料ヲ頂戴シテ明ニナツテ居リマス、大藏省ガ斯ウ云フ法律ガ必要デアル、抵當證券ヲ流通セシメテ日本ノ不動産金融ヲ圓滿ニスルノデアアル、大キク申シマス、現在ノ行詰ツテ居ル經濟界ヲ緩和スルモノデアアルト云フ御趣旨デ御出發ニナツタ以上ハ、此位ノ親切サガアツテモ宜カラウヂヤナイカト云フコトデ、質問致シタノデアリマスガ、只今ノ政府委員ノ御答辯ハ、私ノ質問シマシタ點ト多少違ッテ居リマス、ドウカ其趣旨ニ於テ御答辯願ヒマス

○小川政府委員 私ノ答辯致シマシタ

ノハ、其抵當證券ヲ發行シタ爲ニ、他ノ方面ニ於テ租税ヲ輕クスルト云フヤウナコトハ出来ナイト申シマシタノデアリマスガ、丁度此委員會ニ付託セラレテ居リマスル國稅徵收方法改正法律案ハ、午前中ニ説明シタヤウナ風デ、抵當證券ヲ發行シマスニ付キマシテ、國稅徵收法中第二十八條ニ一項ヲ加ヘテ「賣却シタル物件抵當證券ヲ發行シタル抵當權ノ目的物ニシテ、第二條ノ證明ヲ爲スベキ抵當證券所持人分明ナラザル場合ニ於テ其ノ代金ヨリ督促手數料、延滞金及滯納處分費ヲ徵シタル殘額ガ債權者ニ交付スベキ債務額及徵收スベキ税金ニ充タサルトキハ、其ノ抵當證券所持人ニ交付スベキ金額ハ之ヲ保管ス」ト、サウ云フ風ナ改正ヲ加ヘマシテ、ソコニ一ツノ緩和ヲシヨウト考ヘテ居ルノデアリマシテ、今御質問點ガ玆ニアルナラバ、丁度此處ニサウ云フ改正ヲ加ヘテ居ル次第デアリマス

○勝田委員 ソレハアルコトハ分ッテ居リマス、分ッテ居リマスカラ、コ、マデ御心配ニナツテ居ルノデアアルカラ、私ハ更ニ申シタノデ、大藏當局ト致シマシテハ、此抵當證券法ヲ御出シニナルニ付テハ、國稅ノ方面マデモ御心配ニナツテ居ル、ダカラ尙ホモウ少シ進ンデ、税ノ徵收ノ及ブ範圍、即チ具體的ニ申シマスレバ、不動産ニ付キマシテ

色々ノ税金ガ課カル、吾々ハ思ハナイ所ノ税金ノ爲ニ抵當權ヲ脅カサレルコトガアル、寧ロ不動産其物ニ直接關係アル税金以外ノ税金ハ、不動産ニ及バナイト云フ位ノ、強イ保護ヲ與ヘラレルカドウカ、サウ云フコトニ付テ御考ニナツタコトガアルカドウカト云フ質問デ、只今ノ御趣旨ハ分ッテ居リマスガ、サウ云フ御趣旨デ御答ヲ願ヒマス、ナケレバナナイデ宜イノデスガ……

○小川政府委員 ソレハヤハリ私ガ初メニ答ヘタ分ニ屬シテ居リマシテ、別ナ問題ニナリハセヌカト思フ、其邊ハ税金ト云フコトニナルト、別ニ考慮シナケレバナラスカラ、其點ハチヨットドウモ出来ナイト申上ゲルヨリホカ、仕方ガナイト思ヒマス

○勝田委員 御考慮下サツテ居レバ結構デスガ、全然問題ニナツタカナラナイカト云フコトヲ伺ッテ居ル次第デアリマシテ……ソレデハ宜シウゴザイマス——ソレカラ大臣ハ此委員會ニ御出席ニナルノデゴザイマス、別ニ私ハ要求スル譯デハアリマセヌガ、此根本ニ付キマシテ御伺ヒシタイノデアリマス——ソレデハ私ハ大臣ニ對スル質問ト、各條文其モノニ對スル逐條的ノ質問ヲ留保致シマシテ、此程度デ質問ヲ打切りマス

○藍川委員 私モ逐條的ニ色々御伺ヒ

シタイ點ガアリマスガ、取敢ズ一二伺ヒタイノハ、大體此抵當證券法案ハ時宜ニ適シタル法案デ、大イニ結構トハ存ジテ居リマスガ、抵當權ノ消滅ヲシタニ拘ラズ、尙ホ此讓渡人ノ輾轉スル場合ガアルガ、ヤハリサウ云フ事實ヲ御認メニナツテ居リマスガ、或ハサウ云フ場合ニハ流通ヲ止メルヤウナコトニナツテ居リマスガ、第一ニソレヲ御伺ヒ致シタイ

○長島政府委員 抵當證券ガ流通中ニ抵當物ガ滅失スルト云フ場合ハ、想像致シテ居リマス、即チ普通ノ場合ニハ抵當物ガゴザイマスカラ、最後ノ所持人ガ抵當物ヲ競賣致シマシテ、其殘リノ金ヲ裏書人ニ請求ニ參リマスガ、抵當物ガ全然無クナツテシマツテ居ル場合ニハ、競賣ハ出來マセヌカラ、競賣致シマセズ、其全額ニ付テ裏書人ニ償還ノ請求ガ出來ルヤウニナツテ居リマス、即チ之ニ付テハ抵當證券法ノ三十二條デ、サウ云フ規定ヲ設ケテアリマス

○藍川委員 兎ニ角此證券ハ手形同様ノ作用ヲ爲スモノデアリマスガ、或ル心理カラ言ヘバ、既ニ抵當權其モノハ消滅シテ居ルノニ、裏書人ガ輾轉スルノニ、尙ホ責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フノハ、少シ理窟上如何カと思フノデアリマス、既ニ權利ハ消滅シテ抵當

權其モノハ——例ヘバ建物ガ消滅シテシマツタ、ソレヲ讓渡人ハ知ラナイノミナラズ、其實ヲ知ラズシテ、段々甲カラ乙、乙カラ丙ニ變ルト云フコトハ非常ニ是ハ不理窟ノヤウニ考ヘマスガ、何かサウ云フ時ニハ、告示カ何カノ方法ニ於テ、此證券ノ流通ヲ止メルト云フ工風ヲ設ケラレタ方ガ宜クハナイカト、斯ウ考ヘマスガ、其點ハ如何デアリマスガ

○長島政府委員 結局此抵當物ガ無クナリマシタ時ニ、誰ガ其損失ヲ負擔スルカト云フ問題ニナル譯デアリマスガ、御説ノ如クニ最後ノ抵當證券ノ所持人ガ、其損失ヲ負擔スルト云フノモ其一ツデアリマスガ、本法ニ於テハ抵當證券ノ流通ヲ成ベク圓滑ニスルト云フ意味カラ、其證券ガ無クナリマシタ場合ニ於テモ、裏書人ガ其責任ヲ負フト云フ主義ヲ執リマシタ、是ハ結局抵當證券ノ圓滑ナル流通ヲ欲スル爲メデアリマス、尙ホ斯ノ如キ場合ニ於テハ、證券ノ流通ヲ止メルヤウナ方法ヲ講ジタラドウカト云フ御説デアリマスガ、中々此證券ノ流通ヲ止メルト云フコトハ困難ナ問題デアリマス、證券ノ所持人ガ現ニ分ツテ居ル場合ニハ宜シウゴザイマスガ、分ツテ居ラナイ場合ニハ公告ナドデ止メルト申シテモ、御承知ノ如クニ公告ト云フヤウナモノハ、實

際ハ甚ダ利キ目ノ無イモノデアリマシテ、抵當證券ノ取引ヲシテ居ル者ハ、常ニ此公告ヲ見ルト云フナウナコトニハ參リマセヌモノデスカラ、證券ノ無クナリマシタ場合ノ再下付ノヤウナ已ムヲ得ナイ場合ニハ、公示催告ノ手續ヲ用ヒテ居リマスガ、其外ノ場合ニハサウ云フ規定ヲ置キマス、却ツテ抵當證券ノ流通ヲ害シテ、取引ノ安全ヲ害スルト云フ所カラ、其制度ヲ用キズヤメタ次第デアリマス、抵當證券ノ流通ヲ圓滑ナラシメルト云フ趣旨カラ、多少ノ犠牲ト云ヒマスガ、損失ノ負擔者ニ多少苛酷ナル結果ニナルコトヲ忍ンダ譯デアリマス

○藍川委員 サウ致シマス、ヤハリ是ハ融通性ノ方ニ重キヲ置カレタモノト考ヘマス、ソレデ色々問題ガ起リマスガ、例ヘバ未成年者ノ行爲デ之ヲ取消ス場合ニ、裏書人ニ對シテ手形法ノ如ク扱フテ差支ナイコトニナリマスカ

○長島政府委員 其場合ニハ、大體——ト云ヒマスガ、殆ド全部手形法ト同ジ扱ヒニナリマス

○藍川委員 尙伺ヒマスガ、此證券法ノ中ニ「請求」云々ト云フ文字ガアル、又二十七條ニハ公證人又ハ執達吏ガ支拂ナキ旨ノ證明ヲスルト云フヤウナ條項モアルヤウデスガ、此「請求」ト云

フコトハ、呈示請求ト云フモノニ對スルノデスカ、或ハ又普通ノ言葉ノ請求デ差支ナイノデスカ

○長島政府委員 ソレハ手形ノヤウニ呈示請求デアリマス、御承知ノ通り指圖債券デアリマスカラ、呈示請求デアリマシテ、今一寸條文ヲ舉ゲルニ困難デアリマスガ、呈示請求デアルト云フコトニハ、商法ノ規定モ準用致スノデアリマス

○藍川委員 此證券法案ニ依リマシテ、賣買ト質權ノ設定ト兩方出來ルヤウニ考ヘテ居リマス、賣買ノ方ハ普通ノ手形ノ裏書ノ如ク致スヤウニ考ヘテ居リマスガ、質權ノ設定ノ場合ハ手形法ニ類スルヤウナ文字ヲ書イテ、質權ノ設定ト云フコトヲ明カニ致シマスガ、或ハドウ云フ方法ニ依ツテ證券ニ對スル質權ナリヤ否ヤト云フコトヲ見分ケルノデアリマスガ

○長島政府委員 其點ハ實ハ私共ノ方デモ、成ベクナラバ質入裏書ト云フモノヲ認メヨウト思フテ、法文ノ中ニ一度入レ掛ケタノデアリマスガ、是ハ一方ニ於テハ抵當權ト云フ物權ノ關係モアリマスルシ、他方ニ於テハ債券ノ關係ニ上立法技術ノ上カラ非常ニ困難ナ問題ニ逢著シマシテ、結局普通ノ信託的ノヤハリ讓渡裏書ヲシテ質權ヲ設定スル方法ニ依ル外仕方ガナイト云フコトニ

ナッタノデアリマス、御承知ノ如ク現在
ノ手形デモ質入裏書ト云フコトニ付キ
マシテハ、只單純ノ裏書デ質ニ入レテ
居リマス次第デゴザイマスカラ、ソレ
トヤハリ振合ヲ同ジニスル外仕様ガナ
カラウ、結局ハ質權設定者ガ質取主ヲ
信用シテヤルヨリ仕方ガナイト云フコ
トニ、落付イタノデアリマス

○荒川委員長 今日ハ此程度ニ措キマ
シテ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマ
ス、是デ散會致シマス

午後二時四十分散會

昭和六年二月二十三日印刷

昭和六年二月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社